

第八十一回帝國議會
衆議院

國民貯蓄組合法中改正法律案外一件委員會會議錄(速記)第七回

付託議案
國民貯蓄組合法中改正法律案(政府提出、貴族院送付)(第六九號)
納稅施設法案(政府提出、貴族院送付)(第七〇號)

昭和十八年二月二十三日(火曜日)午前十時
二十分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 由谷 義治君
理事木下 義介君 理事西尾 末廣君
理事山口左右平君

小山倉之助君 駒井 重次君
下出 義雄君 長野 高一君
南郷 武夫君 山野 平一君
吉田貞次郎君

出席國務大臣左ノ如シ

大藏大臣 賀屋 興宣君
出席政府委員左ノ如シ

大藏次官 谷口 恒二君
大藏省主税局長 松隈 秀雄君
大藏省國民貯蓄局長 氏家 武君
大藏省理財局長 田中 豊君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

國民貯蓄組合法中改正法律案(政府提出、貴族院送付)

納稅施設法案(政府提出、貴族院送付)

○由谷委員長 是ヨリ委員會ヲ開キマス——
小山倉之助君

○小山(倉)委員 技術的ノ點ニ付テ一二御伺ヒ致シタイト存ジマス、政府ハ、農産物ノ買入ニ對シマシテハ、振替拂フシテ居ルヤウデアリマスガ、煙草ノ買入代金ハ現金ニシテ居ル、産業組合デハ、大體ニ於テ主要農産物ヲ振替貯金デヤリ、差引イテ一部ハ強制貯金ヲ行ツテ居ルヤウデアリマスガ、煙草ノ代金ダケハ現金デ支拂フ、同ジ農民

ノ經濟製品ノ代價物ニ對スル取扱ニ、サウ云フ相違ヲ置クノハ、ドウ云フ譯デアルカト云フコトヲ御伺ヒ致シタイ

○氏家政府委員 農村ノ農産物ノ賣拂代金ニ付テ、産業組合等デ振替制度ヲ執ルト云フコトハ、最近非常ニ盛シニナツテ參ツタノデアリマシテ、最初ハ米ガ其ノ對象ニサ象ニナリ、又場所ニ依リマシテハ、蜜柑ガ其ノ對象ニナリ、或ハ蘭草ガ其ノ對象ニナリ、色々ニナツテ居ルノデアリマス、煙草ノ賣上金モ振替拂ノ對象ニスルヤウナ方針ニナツテ居ルノデアリマス、但シハ外ノモノヨリモ、比較的後レテ目ヲ着ケラレタト云フヤウナ關係モアリマシテ、全國一律ニ行ツテ居ルトハ申シ兼ネルト思ヒマス、又煙草ガ其ノ地方ニ取ツテ非常ニ重要ナ産物ニナツテ居ル所デハ、大體振替制度ニナツテ居ルト思フノデアリマスケレドモ、是ガ大シタ額デモナイト云フ場合ニ於テハ、マダ其處マデ進ンデ居ラナイ所モアラウカト思ヒマスガ、何モ是ダケハ別扱ヒヲシヨウト云フヤウナ考ヘハ持ツテ居ラナイノデアリマス、此ノ點ニ付キマシテハ、專賣局ノ方トモ色々打合せシマシテ、成ベク速カニ一般ノモノト同ジヤウニ振替拂制ヲ執ルヤウニト云フコトニ、相談ヲ致シテ居ル次第デアリマス

○小山(倉)委員 承知シマシタ、昨日ノ新聞ノ夕刊ニ大體ノ貯蓄割當ト云フモノヲ發表サレタヤウデアリマスガ、ソレハ民間ノ機關

デサウ云フ政策ヲ樹テテ居ルノカ、又ハ政府ノ指令ニ依ルノデアリマスガ、或ハ其ノ民間デ提案サレタ案ヲ、政府ハ之ヲ容レテ採用スル御意思デアリマスガ、ドウデアリマスカ、其ノ點ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○氏家政府委員 昨日ノ新聞紙ニ載ツテ居リマシタ貯蓄取扱機關別ノ貯蓄目標額ノ割當ハ、民間ノ方ノ意思ダケニ依ツテ決マル譯デハナク、又政府ノ意思ニ依ツテ之ヲ押シ付ケルト云フヤウナ形デモナイノデアリマス、資金全體ノ計畫或ハ國民貯蓄ノ蓄積ノ計畫、斯ウ云フモノハ勿論政府ノ方デナケレバ分ラナイノデアリマスガ、サウ云フ全體ノ立場カラ考ヘテ、ドノ貯蓄取扱機關ガドノ位ト云フヤウナ、大體ノ案ヲ作リマシテ、官廳方面ノ貯金局或ハ簡易保險局ト云フヤウナ方面ニハ、特ニ貯金局ノ方カラ直接ニ話ヲ致シマスシ、又民間ノ金融機關側ニ對スル割當ニ付テハ、全國金融統制會アトリガ、又色々ト斡旋ヲ致シマシテ、兩方ノ相談ガ纏ツタ所デ、アア云フ目標額ガ出來上ツタ次第デアリマス

○小山(倉)委員 左様ナ計畫ハ政府トシテナサレルノハ當然デ、其ノ處置ハ已ムヲ得ナイト存ジマス、併シ市街地ニ於キマシテハ、大體ノ目標ハ隣組デハ市民税ノ額ヲ標準トシ、又區役所ノ方カラ來マスノハ、大體ニ於テ所得税ヲ中心トシテ割當テ參リマス、政府ハ貯蓄ヲ強制シナイト云フ方針ヲ樹テラレテ居ルヤウデアリマスガ、此ノ部落會、或ハ區役所ノ吾々市民ニ對スル

態度ハ、殆ド強制ニ等シイノデアリマス、ソコデ市民税ヲ標準トシ、所得税ヲ標準トスル、サウ云フ二方面カラ責メラレマスノデ、大分其ノ間ニ不公平ヲ感ジ、不滿ヲ懷イテ居ル者ガ多イノデアリマス、隣保相助ノ組織デ以テ出來タ此ノ隣組、或ハ町會ガ、動モスレバ隣保相助ニアラズシテ、隣保相助ノ形ニナル虞ガアルノデアリマスガ、此ノ點ニ付テハ大體大藏當局ニ於テ標準ナリ、或ハ獎勵方法ナリニ付テ、部落會或ハ區役所、其ノ他ノ機關ニ、御指示ガアルノデスカドウカ、其ノ點ヲ伺ヒタイ

○氏家政府委員 或ハ私ノ言葉ガ足りマセヌ爲ニ、最初ノ御質問ニ付テ誤解ヲ御起シ下サルヤウナコトガアツテハ困ルト思ヒマスノデ、ソコヲモウ一度申上ゲタイト思ヒマスガ、最初申シマシタノハ、貯蓄取扱機關別ノ目標額ノ割當ノコトデゴザイマス、二百七十億ヲドウ云フ風ニシテ蓄積シヨウカト云フ場合ニ於テ、先ヅ割當方ガ二ツノ方面カラ進ンデ參ルノデゴザイマス、一ツハ直接蓄積ヲスル側ノ、一億國民ニ對スル割當ト申シマスガ、先ヅ府縣別ニ割當テ、更ニソレヲ市町村ニ割當テ、更ニ町内會、部落會ニ割當ルト云フヤウナ、國民組織ノ下部ノ方ニ向ツテ割當テ行クト云フ割當方法デゴザイマス、此ノ割當ニ依ツテ蓄積シマスル貯蓄ト云フモノハ、何レハ大部分貯蓄取扱機關ニ集ルノデアリマス、即チ郵便貯金ニナリマスガ、銀行預金ニナルカ、或ハ信託ニナルカ、或ハ産業組合ノ貯金ニ

ナルカ、或ハ保險ノ掛金トナリ、無盡ノ掛金トナル、或ハ直接ニ有價證券ヲ買入レルト云フヤウナコトニ依ツテ、金融機關ノ方ニ一應集マル、斯ウ云フコトニナルノデアリマス、隨ヒマシテ蓄積ヲスル方面ニ對スル割當ノ外ニ、モウ一ツ貯蓄ヲ取扱フ方面ニ對スル割當ト云フモノガ、必要ニナツテ來ルノデアリマス、大體見込ミヲ立デマシテ、ソレ位ノモノハ集メルコトニ努力ヲスルト云フ意味ノ目標額デアリマス、其ノ目標額ノ方ヲ、金融統制會其ノ他ノ斡旋ニ依ツテ、取扱機關毎ニ定メマシテ、ソレヲ昨日新聞ニ發表シタ、斯ウ云フコトニナルノデゴザイマス、只今ノ御尋ネハ町内會、部落會、或ハ隣組、サウ云フ方面ノ割當ノコトデアリマシタガ、ソレハ又別ノ系統カラ割當テ行クノデアリマス、先ヅ之ヲ道府縣ニ割當テ、道府縣ガ市町村ニ割當テ、更ニ市町村ガソレヲ下部ニ割當テル、斯ウ云フコトニナツテ參ルノデアリマス、又御尋ネニナリマシタノハ、貯蓄全體ノコトデハナクテ、所謂地域貯蓄組合ノ組合貯蓄デアルトカ、或ハ國債債券ノ直接消化ノ爲ニ執ツテ居リマス隣保消化ノ額ノ割當、其ノ方面ノコトヲ御尋ネニナラレタヤウニ諒解致シタノデアリマスガ、其ノ割當ニ付キマシテハ、御話ノヤウニ或ハ町會費ヤ、部落會費ニ依ツテ按分ヲシテ見タリ、或ハ市町村民稅ニ依ツテ割當テテ見タリ、或ハ所得稅ニ依ツテ割當テテ見タリ、色々ナコトヲ地方ニ依ツテヤツテ居ルヤウデゴザイマス、是ハ御話ノヤウニ、決シテ完全ナ方法デハナイノデアリマシテ、私共ハモツト親切ナ割當方ヲスルヤウニト云フコトデ、色々ト指導ハ致シテ居ルノデアリマス、所ガ是ハ隣保組織

ト云フモノガ、相當ノ經驗ヲ經テ巧ク働イテ居ルカドウカト云フコトニ依ツテ、割當方ナドハ色々違ツテ居ルヤウデアリマス、比較的ニ地方農村ノ方デ巧ク行ツテ居ルヤウニ思ハレマス、是ハ御互ヒノ間デ、アノ家ハ家族ハドウ云フ風ナ人達カラ成立ツテ居ルカ、又耕作反別ハドウ云フ風ニナツテ居ルカト云フヤウナ御互ヒノ資力、資産ガ割合ニ能ク分ルノデアリマス、隨テ何モ町村民稅ナドニ依ツテ、杓子定規ナ割當方ヲシナクテモ、本當ニ具體的ナ事情ニ應ジテ、割當テルコトガ可能ナデアリマス、所ガ都會地ニナリマス、最近マデ向ヒノ家ノ人ト遇ツテモ、挨拶モシナイト云フヤウナ所ガ多カツタノデアリマスカラ、中々隣保消化ガ始マリマシテモ、巧イ割當方ガ出來ナイ、隨テ今日ニ於キマシテマダ市民稅ナドヲ使ツテヤツテ居ル所モ、相當アルヤウデアリマス、最初ハ御承知カモ知レマセヌガ、頭割ナシカデヤツタ時代モアツタノデアリマス、ソレガ段々ト進シテ參リマシテ、市民稅ヲ使フヤウニナリ、更ニ市民稅ヨリモ、町會費ノ何倍ト云フコトガ都會ガ好イト云フノデ、ソシナコトヲ使ツテ見テ居ル所モアリマス、併シモウソレヨリモズツト進歩シマシテ、標準モ二ツモ三ツモ使フ、或ハ御互ヒニ當會ノ時ニ話合ヒラシテ、ソシテ個々ノ事情、最近ノ事情ヲ取入レテ、皆デ無理ノナイ負擔ヲスルト云フヤウナ所マデ行ツテ居ル所モ、相當テ參ツタノデアリマス、私共ハドウシテモソコマデ行カケレバナラヌト思フノデアリマス、其ノ爲ニ毎日顔ヲ合シテ居ル者ノ間デハ、中々サウ云フ話ガシニクイト云フヤウナ點モアリマス、ソレデ昨年ノ暮カラ貯蓄組合ノ指導員ト云フモノヲ全國ニ

養成シテ、サウ云フ場合ニ斡旋モシ、指導モサセヤウト云フヤウナ計畫ヲ立テテ居ル次第ナデアリマス、御話ノ通り今日餘リ杓子定規ナヤリ方ヲシテ、巧ク行ツテナイト云フコトノアルコトハ、私共モ認メルノデアリマス、是ハ過渡的ナモノデアリマシテ、決シテ此ノ儘ニシテ置ケルモノデハナイト思ヒマス、段々梓イ所ニ手ノ届クヤウナ親切ナ割當方ヲスルヤウニ、之ヲ導イテ行カケレバナラヌト思フノデアリマス

○小山(倉)委員 只今局長ノ御答辯ノ如ク、政府ノ方面カラ言ヘバ、或ハ貯蓄ヲ獎勵スル、金融機關ヲ利用スル、或ハ府縣別ノ割當ヲヤルト云フ風ニ、劃然ト計畫ハ立テラレテ居リマスガ、一般市民カラ見マスレバ、銀行カラモ來ル、産業組合カラモ來ル、隣組カラモ來ル、或ハ勸誘員トシテ壯士上リノヤウナ亂暴ナ態度デ、妻君ヲ呼び付ケテ玄關デ以テ説法スル、今日ハ五十億足りナイノダ、此ノ五十億ノ貯蓄ヲ此ノ數箇月ノ間ニヤラナケレバナラヌト、滔々ト玄關デ辯ズルヤウナ、恰モ保險ノ勸誘員ヲモリマス、併シ私ハ決シテ政府當局ヲ攻メルノデモナケレバ、過渡的ナ時代デアツテ、且ツ又非常ニ困難ナ仕事デアリマスカラ、色々ナコトハアリ得ルノデアツテ、決シテサウ云フコトガアツタカラト云ツテ、貯蓄ヲ此ノ儘ニシテ居ル譯ニハ參ラスノデアリマス、御苦心ノ程ハ十分御察シ致シマス、ソコデ此ノ貯蓄ノ理論カラ言ヒマスルト、非常ニ難カシイ問題ナンデス、國費ヲ支辨スル爲ニ二百七十億ヲ目標トシテ居ル、其ノ貯蓄ノヤリ方モ何レ數年ノ後ニ支拂フト云フヤリ方デス、其ノ數年ノ後ニ拂フト云

フノハ、丁度保險金ミタイナモノデ、金ノ値打ガ段々下ツタ後デ拂フノデアリマスカラ、其ノ時ノ購買力ハズツト減ル、色々貨幣價值ニ對スル理論モアレバ、國費ヲ賄フト云フ所謂緊急ノ理由モアル、斯ウ云フ複雜シテ理由ト云フモノハ、中々一般市民ニハ納得シ得ナイ問題デアリマス、デスカラ大藏當局ノ如ク非常ナ熱意ヲ持チ、且又其ノ必要ヲ痛感シテ居ルト云フ立場ニ居ル人デ、初メテ國民ヲ納得サセルコトガ出來ル、貯蓄ハ今日ハ一ツノ理論デアルヨリハ、必要カラ起ツテ居ルノデアリマシテ、無理ニモヤラナケレバナラヌ問題デアリマス、併シナガラ唯無理亂暴ナコトヲ言ツタカラト云ツテ、國民ハ應ズルモノデモナケレバ愛國心ヲ茲ニ喚起スル譯ニハ行カナイノデアリマス

ソコデ私ハ御伺ヒ致シタイノデアリマスガ、今マデハ曲リナリニモ大藏當局ガ國民指導ニ當ラレタ、然ルニ今日ハ之ヲ翼贊會ニ讓ラレタガ、翼贊會ノ諸君ニ、果シテ斯様ナ方面ニ付テ國民ヲ納得サセルダケノ人員ガ揃ウテ居ルカドウカ、翼贊會ノ中ニサウ云フ機關ガ充實シテ居ルカドウカ、充實シテ居ナイトスレバ、政府ニ於キマシテ、ドウ云フ御方針ガアレルノカ、指導員ヲ作ラレルト仰セラレマスガ、翼贊會ノ中ニモ尙ホ指導員ヲ作ツテ居ラレルノカ、地方別ニサウ云フ指導員ヲ作ラレルト云フノカ、サウ云フ指導員デ、第四半期ノ五十億萬圓ト云フモノヲ直チニ募集シナケレバナラヌ、來年度ニ於テハ二百七十億圓ト云フ目標ガアル、是カラ指導員ヲ養ハレテ、直チニサウ云フ目標ニ役立チ得ルモノデアルカドウカ、政府ハサウ云フ問題以外ニ、更ニ便法ヲ御考ヘデアアルカドウカ、是カラ指導

員ヲ養フコトヨリモ、現在サウ云フ方面ノ理解ノアル人ヲ動員シテ、全國ニ遊説ヲスルト云フヤウナ方法ガアルカドウカ、斯ウ云フ點ヲ御伺ヒ致シタイノデアリマス

○氏家政府委員 現在我が國ノヤツテ居リマス國民貯蓄増強ノ方策ハ、御話ノヤウニ愛國心ニ懇ヘテヤルト云フ方式ヲ採ツテ居ルノデアリマシテ、法律ニ依ル罰則ニ依ツテ強制スルト云フコトハ、出來ル限り之ヲ避ケルト云フコトニナツテ居ルノデアリマス、ソレニ付キマシテ、財政上カラ考ヘテノ貯蓄ノ必要ナコト、或ハ貯蓄ト金融經濟トノ關係、之ヲ能ク吞込シテ居ル大藏省方面ノ者ナラバ、適切ナ指導ガ出來ルカモ知レナイガ、今ハ大藏當局ガソレヲヤラナイヤウニナツテ居ルガト云フ御話ガアツタノデアリマスガ、ヤハリ國民貯蓄ノ増強ニ付キマシテモ、謂ハバ參謀本部ト申シマスカ、何處マデモ是ハ大藏省ニ於テヤツテ居ルノデアリマス、大政翼賛會ハ國民ニ對スル貯蓄獎勵ノ運動方面ノコトヲ擔當シテ居ル、斯ウ云フコトニナツテ居ルノデアリマス、所ガ地方ノ實情ヲ見マス、御承知ノヤウニ翼賛會ノ地方支部ト云フモノノ事務所ガ、縣廳ノ中ニアルモノモ隨分アルノデアリマス、ソレカラ色々ナ運動ニ付キマシテモ、府縣ノ名前ト翼賛會ノ名前ト二本建デ行ツテ居ル所ガ、非常ニ多イノデアリマス、府縣ノ役人デ翼賛會ノ役人ニナツテ居ルト云フ人モ、隨分アルノデアリマス、隨ヒマシテ私共見テ居リマス、貯蓄ニ關スル國民運動ニ付キマシテモ、官民一緒ニナツテヤツテ居ルト見ル方ガ、適當デハナイカト思ハレコトデアリマシテ、何處マデガ翼賛會、何處マデガ政府ト云フヤウニ、ハツキリシ

タ目途ハ立テラレナイと思フノデアリマス、又私ソレデ宜イノデヤナイカト思ツテ居ルノデアリマス、政府トシテ中々言ヒニクイコトデモ、翼賛會ノ方カラ言ツテ費フト、割合ニ工合好ク行クコトモアルノデアリマス、又翼賛會トシテハ、餘リ四角張ツタ行キ方ダト云フヤウナコトハ、政府ノ方デヤルコトガ、工合好ク行ツテ居ルコトモアルノデアリマスカラ、ソコハ宜シキニ從ツテヤツテ行クベキデアツテ、サウ何モ四角張ツテ、ハツキリシタ區別ヲ立テテ置カナケレバナラヌトハ思ハナイノデアリマス、兩方協調シテヤツテ行ク、大體ノ考ヘ方トシテハ事務的ナ方面ノコトハ、成ベク官廳側デヤル、國民ノ貯蓄思想ノ啓發宣傳ト云フ方面ハ、大體翼賛會ノ方デヤルコトニシ、互ヒニ其ノ間連絡ヲ保持シテヤルト云フコトガ一番實效的デアル、又大體左様ニナツテ居ルト考ヘルノデアリマス、今回全國ニ配置スルコトニナリマシタ指導員ト申シマスノハ、是ハ主トシテ貯蓄組合ノ指導ヤルモノデアリマシテ、是ハ各府縣ニ於テ委嘱ヲシタ人達ガ、指導員トナルコトニナツテ居リマス、之ヲ養成スルカ申シマシテモ、此ノ人達ハ專任ノ人達デハナイノデアリマス、今日各地方ニ於テ市町村ノ仕事ヲシテ居ルカ、或ハ其ノ他部落會長、町内會長ヲヤツテ居ルトカ云フヤウナ人達ノ間ニ、貯蓄ニ本當ニ獻身的ニ努力ラシテ居ル人、サウシテ相當ノ實績ヲ擧ゲテ居ル人ガ隨分アルノデアリマス、斯ウ云フ人達ニ御願ヒラシマシテ、自分ノ方デヤツタヤリ方、ソレガ巧ク成功シタト云フコトデアレバ、之ヲ他ノ方面ニモ眞似サセルト云フコトニ、段々

ヤツテ行キタイト云フ所カラ思ヒ付イテ居ルノデアリマシテ、隨テ養成ト申シマシテモ、或ハ事務的ナコトヲ二三講習スル必要ハアルカモ知レマセスケレドモ、大體ニ於テ地方ノ人達ニ貯蓄ヲ殖ヤサセルト云フヤリ方、戰時生活ヲ實踐サセルト云フヤウナコトニ付テノ指導ノ方面ニ付テハ、吾々以上ニ實際ノ經驗ヲ經テ居ル人達デアリマスカラ、斯ウ云フ人達ヲ選ビ出シマシテ、之ヲ貯蓄組合ノ指導員ト云フコトニ御願ヒラシ、今マデ自分ノ關係シテ居ツタ方面ニノミ、其ノ人達ノ御働キヲ願ツテ居ツタノヲ、之ヲモツト擴ゲテ行カウ、斯ウ云フ考ヘ方ヲ致シテ居ルノデアリマス、大體サウ云フヤウナ次第デアリマスカラ、別ニ翼賛會ノ方ノ活動ト、ソコニ摩擦ガ起ルト云フヤウナ虞ハ全然ナイ、斯ウ考ヘテ居リマス

○小山(倉)委員 私ハ翼賛會ト摩擦ガ起ルト云フ意味合デ、御尋ネラシタノデハナイノデアリマシテ、ドウモ貯蓄獎勵ノ演說會ニ行ツテモ、中ニハ一體何ヲ言ツテ居ルカ、貯蓄ト云フモノヲ理解シテ居ルカ、理解シテ居ナイノカ分ラスト云フヤウナ疑問モアルト云フコトヲ伺ツテ居リマスカラ、モツト優秀ナ人ヲ派遣スル必要ハナカラウカ、ソレニ付テ何カ御名案ハナイガラウカ、中島彌爾次君トカ、木村正義君トカ、優秀ナ政治家モ御利用ニナツテ居ルト云フコトヲ伺ツテ居リマスガ、私ハ全國ノ經濟記者諸君ナドニモ、御活動ヲ願フコトニ致シマシタナラバ、寧ろ今日ノ翼賛會ノ諸君ヨリモ、モツト效果ガアリハシナイカ、サウ云フヤウナ御案モナサルベキデハナカラウカ、ト云フ含ミデ御質問申上ゲタノデアリマシテ、現在ノ翼賛會ノ諸君ガ全部惡イ、大藏省ノ方針ヲ實施スル上ニ於テ、其ノ間ニ摩擦ガアルト云フヤウナコトハ考ヘテ居ナイノデアリマス、唯サウ云フ「スタッフ」ガナイ所ニ、直チニ事務ダケヲ持ツテ行ツタカラト云ツテ、此ノ差迫ツタ緊急ノ貯蓄ト云フモノノ實績ヲ擧ゲルコトガ出來ルカドウカ、其ノ點ヲ憂ヘマスノデ、申上ゲタノデアリマスソコデ御質問申上ゲタイノデアリマスガ、昨年度ノ目標二百三十億圓ニ對シテ、尙五十億圓ノ不足ヲ感ジテ居ルヤウデアリマスガ、其ノ原因ハ大體下ノ邊ニアルト御考ヘニナツテ居ルカ、原因ハ何デアルカト云フコトヲ一ツ御伺ヒ致シマス

○氏家政府委員 最初ノ御尋ネ、或ハ私聽キ損ヒデアツタカモ知レナイノデアリマスガ、貯蓄ニ付キマシテハ、御話ノヤウニ色々ト難カシイ理論モアルノデアリマス、大體國民貯蓄ニ關スル問題ト云フノハ、支那事變後ニ起ツテ來タノデアリマス、隨ヒマシテ私共モ學校デ國民貯蓄ト云フ四字ハ、殆ド習ツタコトガナイノデアリマス、財政學デモ經濟學デモ習ツタコトハナイノデアリマス、又著書モ殆ド日本ニハアリマセヌ、外國ノ著書モ目ボジイモノハナイノデアリマス、之ニ關スル知識ト云フモノガ、一般ニ餘リ行渡ツテ居ラナイト云フコトハ、是ハ私共モ認メテ居ルノデアリマス、今日貯蓄獎勵ノ仕事ヲシテ居リマス人ノ中ニハ、隨分怪シゲナコトヲ言ツテ廻ル人モアル、御話ノ中ニサウ云フ意味ノコトガアリマシタガ、同感ナノデアリマス、私共ハ其ノ爲ニ中央ニ貯蓄獎勵委員會ト云フノヲ作ツテ居リマシテ、其ノ委員ノ中ニハ此ノ委員長ノ由谷サナドニモ、多年其ノ方ヲヤツテ戴イテ居ルノデアリマスガ、其ノ外色々財界方

面ノ知名ノ士、經濟上ノ知識經驗ノ豐富ナ
方々ヲ御願ヒシテアリマスカラ、斯ウ云フ
方々ガ時々オ暇ヲ割イテ、全國ヲ遊説シテ
歩カレルト云フヤウナコトハ、是ハズツト
前カラヤツテ居リマス、ソレカラ婦人ノ知
名ノ方ナドモ御願シテ居リマス、大藏省ノ
國民貯蓄局ノ婦人講師ト云フノハ、全國ノ
女ノ方々カラハ相當注目サレテ居ル存在ナ
ノデアリマス、又大藏省委員ノ方々デモ、
斯ウ云フ方面ニ興味ヲ熱意ヲ持ツテ居ラレ
ル方々ニハ、努メテ御願ヒヲ致スト云フヤ
シウナコトヲシマシテ、御話ニアリマシタヤ
ウニ、成ルベク正シキ貯蓄ニ付テノ認識ヲ與
ヘルト云フコトニ付テハ、相當骨ヲ折ツテ
居ル積リデゴザイマス、其ノ次ニ今御話ノ
アリマシタ五十億圓ノ問題デゴザイマスガ、
昭和十七年度ニ於キマシテ、二百三十億圓
ノ貯蓄目標ヲ掲ゲタノデアアルガ、五十億
圓程足ラナイト云フ話ガアルガ、ドウ云フ
譯デ足ラナイカト、斯ウ云フ御尋ネノヤウ
デゴザイマスガ、是ハマダ二百三十億圓ニ
ナラナイト云フダケノコトデアリマス、即
チ昭和十七年ノ四月カラ昭和十八年ノ三月
マデノ間ニ二百三十億圓、斯ウ云フノデ
アリマスカラ、五十億圓足ラナイト云フノ
ハ、四月カラ十二月マデノ所デハ、マダ二
百三十億圓ニ五十億圓足ラナイ、斯ウ云フ
ノデアリマス、隨テ一月、二月、三月ニ國
民ガ一生懸命ニナツテ下サレバ五十億圓ガ
出來ル、斯ウ云フヤウナ計算ニナルノデゴ
ザマス

○小山(倉)委員 今局長ノ御答ヘノ通りデア
リマス、唯私ノ憂ヘマスノハ、此ノ一月、二
月、三月——モウ二月半バ過ぎテ居リマスカ
ラ、先ヅ三月一杯、ソレマデニ二百三十億

ノ目標ニ達シ得ルカドウカ、若シ達シ得ナイ
トスルナラバ——マダソコニ時ガアルノデ
スカラ達シ得ナイト云フ推定モ困難デアリマ
セウガ、達シ得ナイト云フスレバ、ソコニ大
藏省當局トシテ、其ノ大體ノ原因ハ何處ニ
アルト云フコトニ御考ヘニナツテ居リマス
カト云フ譯デス、詰リドノ層ニ貯蓄力ガナ
イノカ、或ハ貯蓄ヲスル餘裕ガアルノデハ
ナイカト云フ方面モアリハシナイカト云フ
質問デアリマス

○氏家政府委員 一月、二月、三月ノ三箇
月間ニ五十億ノ達成ガ出來ルカドウカト云
フコトニナリマス、是ハ普通ノ努力デハ
餘程困難ダト思フノデアリマス、殊ニ間接
稅ノ増稅ノ問題ガ起リマシテ、稅ノ課カラ
又内ニ成ベク物ヲ買ツテ置キタイト云フヤ
ウナ考ヘ方カラ、貯金ヲ拂戻シテ見タリ、
或ハ預ケ得ル金ヲ握ツテ置イタリスル者モ
ナイトハ限ラナイノデアリマスカラ、此ノ
爲ニ貯蓄ノ増加ノ上ニ、多少ノ惡影響ガア
リハセスカト云フヤウナコトモ心配サレル
ノデアリマス、隨ヒマシテ五十億ノ達成ト
云フコトハ、是ハ並々ナラヌ努力ヲ要スル
コトト思フノデアリマスカレドモ、御承知
ト思ヒマスガ新聞ニモ載ツタノデアリマ
スケレドモ、三月ノ一日カラ三月二十日マデ、
二百三十億貯蓄必成特別計畫ヲ全國のニ展
開シマシテ、是ガ非デモ之ヲヤリ拔カウ
ト云フ計畫ガ着々ト進ンデ居ルノデアリマ
ス、隨ヒマシテ只今ノ所デハ二百三十億ノ
達成ニ付テ、別ニ悲觀のナ考ヘラ持ツテ居
ル譯デハナイノデアリマス、容易ナコトデ
ハナイケレドモ、國民ガ一生懸命ヤツテ吳
レレバ出來ル、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居ルノ
デアリマス、隨ヒマシテ御尋ネノヤウニ、

ドノ層カガ非常ニ急ケテ居ル爲ニ出來ナイ
ト云フ風ニハ考ヘテ居ラナイノデアリマス
ルガ、全體トシテ見マシテ、ドウモ地方農
山村ノ方ガ、生活モ向上サセナイヤウニシ
テ貯蓄ニ精出シテ居ラレルヤウデアアルシ、
都會地ニハ全部ガ全部トハ言ハナイノデア
リマスルガ、マダ平時の生活ヲ其ノ儘續
ケテ居ル、或ハ續ケル爲ニ隨分色々骨ヲ
折ツテ居ルト云フヤウナ人多イ、隨テ一
般ノ都會ノ人ガ貯蓄ニ不熱心ダト云フヤウ
ナ評モ、必ズシモ當ツテ居ラナイモノトモ
言ヘナイト云フ風ニ考ヘテ居リマス

○小山(倉)委員 私ハ言葉尻ヲ捉ヘルノデハ
アリマセスガ、急ケテ居ルト云フ意味デハ
ナイノデアリマシテ、所謂貯蓄ヲシタクト
モ出來ナイ層ガアルノデハナイカ、デスカ
ラ今局長ノ仰セラルル通り、五十億ヲ是ガ
非デモヤルト云フコトニナツテ、若シソコ
ニ出來ナイ層ガアリトスレバ、其ノ五十億
圓ノ貯蓄ハ強制ニナル、隨分無理ガ起ル、
一體政府ノ政策トシテ、サウ云フ無理ヲシ
テモ宜イカドウカ、併シ國費トシテハチヤ
ント決マツタ費用ガアルノデス、純計實ニ
四百七十億圓——一般會計、特別會計其ノ
外ノ會計ヲ全部合計致シマス、實ニ四百七
十億圓ニナリマス、斯ウ云フ巨大ナ金ヲ使
フ、私ハ是等ノ點ニ付テ大臣ニ御質問シタ
イ點ヲ殘シテ居ルノデアリマスガ、詰リ出來
ナイ層モアルノデハナイカ、サウ云フ層ニ
對シテ、政府ガ兎ニ角二百三十億圓ト云フ
貯蓄ノ目標ヲ立テタカラ、是ハドウシテモ
ヤラナケレバナラヌ、ドウシテモヤラナケ
レバナラヌナラ、ソコニ無理ガ起ルト云フ
コトデスカラ、之ニ對シテハ若シ其ノ貯蓄
ガ出來ナカツタナラバ、又外ノ方法モ考ヘ

ヨウヂヤナイカ、併シ戰爭ニハ勝抜カナケ
レバナラヌ、ダカラ私ハ二百三十億圓ノ貯
蓄ガ出來ナイカラト云ツテ、目標カラ多少
外レタカラト云ツテ、吾々ハソレヲ責メル
ト云フ意味デヤナイノデアリマスガ、併シ
其ノ目標ヲ達成スルガ爲ニ無理ヲスルト云
フコト、サウ云フコトヲ吾々ガ政府ニ獎メ
テ宜イノカドウカ、又ソコニ別ノ方法ガア
リハシナイカ、斯ウ云フ意味合デ伺ツテ居
ルノデアリマス、併シ只今ノ御説明デ大體
事情ガ分リマシタ、然ラバ國民消費トシテ
殘サレタ百三十億圓ト云フモノニハ、今度
増稅サレタ物品稅、詰リ間接稅ト云フモノ
ハ含ンデ居ルノカドウカ、含マナイノガ百
三十億圓デアリマスカ、ソコデサウナツテ
來ルト、物ヲ買フ時ハ皆稅込ミデ買フノデ
アリマスカラ、其ノ計算ヲドウ云フ風ニ御
覽ニナツテ居ルノカ、所謂稅ニ類似シタ強
制的ニ國家ガ取上ゲル百億圓ノ中ニ間接
稅、所謂消費稅ガ入ツテ居ツテ、此ノ百三
十億圓ト云フ國民消費トシテ當テラレタ其
ノ總額ノ中ニハ、間接稅ガ入ツテ居ナイノ
カドウカ、此ノ點ヲ御伺ヒシタイノデアリ
マス

○氏家政府委員 只今ノ最初ノ方ノ御意見
ハ、實ハ非常ニ重大ナコトナノデアリマス、
御話ノヤウニ貯蓄ヲシタクトモ出來ヌ層ガ
アルト云フコトハ、是ハ其ノ通りデアリマ
ス、先般大藏大臣豫算委員會ニ於テ述ベ
ラレタ筈デアリマスガ、今日ハ殆ド貯蓄ノ
出來ナイイギリ——パイノ生活ヲシテ居ル
者モアル、併シ三割、四割或ハ五割ノ切下
ヲシテモ宜イト云フヤウナ生活ヲシテ居ル
者モアル、斯ウ云フコトヲ言ハレタノデア
リマスガ、其ノ通りデアラウト思フノデア

リマス、ソレデ吾々ノ貯蓄獎勵ハ、其ノ切
下ノ餘地アル方面ニ向ツテ強力ニ進マナケ
レバナラス、モウ是レ以上ハ出來ヌト云フ
層ニ對シテ要求シテモ、イカヌト云フコト
ハ御話ノ通りデアルト思ヒマス、唯併シ二
百三十億ハシナクテモ宜イト云フ風ニハ考
ヘラレマセヌ、是ハドウアツテシナケレバ
ナラス、又出來ルモノダト考ヘテ居ルノデ
アリマス、後ノ方ノ話百三十億ノ消費資金
ノ中ニハ、消費稅ヲ含ムカト云フコトデゴ
ザイマスガ、消費稅ノ方ハ百億ノ稅ノ方ニ
含メテ、計算致シテ居ルノデアリマスカラ
百三十億ノ方ニハ入ツテ居ラナイ、斯ウ云
フコトニナルノデアリマス。

○由谷委員長 小山君ニ申シマスガ、大藏
大臣ガ才見エニナリマシタガ、時間ヲ才急
ギノヤウデスカラ、今ノ御話ハ一時後廻シ
ニサレテ、大臣ニ御質問ヲ願ヒマス。

○小山(倉)委員 ソレデハ大臣ニ簡單ニ御
質問申上ゲマス、五百億ト云フ目標ヲ御立
テニナツタノデアリマスガ、是ハ國民所得
トシテ御推定ニナツタノデアリマセウガ、
其ノ計算ノ基礎ハドウデアルカト云フコト
デアリマス、其ノ計算ノ中ニ斯ウ云フコト
ヲ——是ハマア非常ニ困難ナ問題デアリマ
シテ、今私ガ申上ゲルコトハ、決シテ政府ノ
ヤツテ居ルコトガ惡イト云フ意味デヤナイ
ノデアリマシテ、寧ろ私ハ教ヘラフ意味
合デモアリマス、舉足取リト云フ意味デモ
ナケレバ、缺點ヲホジクルト云フ意味デモ
アリマセヌ、其ノ點ハ一ツ御承知ヲ願ヒタイ
ノデアリマスガ、此ノ點ニ關シテ先ヅ政府ニ
調査機關ガ完備シテ居ルカドウカ、一體此
ノ計算ノ技術ノ研究ハ、十分進ンデ居ルカ
ドウカ、其ノ「スタッフ」ニ或ハ間然スル所

ガナイデアラウカ、詰リ五百億圓ト云フ
其ノ目標ヲ立テルノニハ、相當完全シタ組
織ガナケレバナラスト云フ問題デスカ、先
ヅ其ノ點ヲ御伺ヒ致シタイノデアリマス。

○賀屋國務大臣 國民所得ト云フ問題ニ付
キマシテデアリマスガ、大體私ノ考ヘデハ、
大キナ經濟力ヲ色々測ルト云フコトニ付キ
マシテハ、世界的ニ何處モ餘リ吾々ガ希望
スル程進歩シテ居リマセヌ、一體國家ノ力
ハ何カ、ドウ云フ軍艦ヲドウ云フ性能ノモ
ノヲドウ位造ル力ガアルカ、ソレヲ何處デ
ドウ位働カセル力ガアルカ、如何ナル大砲
ヲドウ位ノ時間デ造ル力ガアルカ、食糧ニ
付キマシテモ、運輸ニ付キマシテモ、生産
ニ付キマシテモ皆ソナモノデアリマス、
一體金額デ測ルト云フコトガ、抑、個人ノチ
ツボケナ考ヘデアリマシテ、個人ナラバ幾
億圓ノ財產家ト雖モ、之ヲ賣ツテ金ニスレ
バ二億カ三億デ買ヘルモノガ、普通ノ經濟
時代ニハ幾ラモアル、サウ云フモノハ金デ
計算シテ居レバ宜イ、換價出來マス、所ガ國
家ノモノハ國富ニ致シマシテモ個人ノヤウ
ニ何カノ場合ニ賣ツテ、他ノ物ヲ買フト云
フ譯ニ行カナイモノガ多イノデアリマスガ
ラ、國富ハ幾ラト云フコトハ正直ナ所ヲ申上
ゲルト、野暮ナ計算ダト思ヒマス、國民所得
亦然リデ、斯ウ云フ生産物ヲ幾ラ作ル、斯ウ
云フ軍需生産物ヲ幾ラ作ルト要求シマシテ
モ、其ノ生産物ヲ轉換ガ巧ク行カナイ場合ニ
ハ、必要ナモノガ同ジ國民所得ノ中ニ、國ニ
依ツテ出來タリ出來ナカツタリスル戰力デ
モサウデアリマシテ、「ソロモン」デ戰爭スル時
ニ幾ラ日本ニ戰力ガアリマシテモ、所要ノ時
期ニ其處マデ持ツテ行カナケレバヤハリ役
ニ立タナイト云フヤウナ觀點デ、實際ヲ申上

ゲマス。國民所得ノ如キモノハ或ル意味デ
金錢の純計ヲシタモノニ過ギナイモノデアリ
マスカラ、利用目的カラ言ツテ、如何ナル國民
所得ノ計算ノ仕方ガ最モ宜イカト云フト、是
ハ非常ニ議論ガアルト私ハ思フ、今政府ガ豫
算ノ純計ト云フモノヲ發表シテ居リマス、私
ハ事務官ノ時ニ擔當シテ之ヲ作りマシタ、一
體純計ト云フコトヲ世間デ言フガ何カ、是ハ
國民ノ負擔總額ハ幾ラト云フコトデアアル、
國庫カラ出シ入レル金ノ總額ハ幾ラト云
フコトデ、純計ノ意味如何ト云フコトニナ
ルト、是ハ何モ決ツタコトデハナイ、ソコ
デ私ハ純計ハ、斯ウ云フ意味ト假定シテ見
レバサウ云フ風ニ見ラレル、然ラバ其ノ利
用價值ハ如何、是ハ國民負擔デモ何デモア
リマセヌカラ、私ガ作ツタモノデスカ、國
民ハ餘リ利用價值ハアリマセヌ、サウ云フ
意味カラ致シマシテ物ヲ作ル時ニ、純額面
デアリマセヌケレドモ、モノヲ利用スル、
個人デ言ヘバ目高ミタイナモノデ、私共ノ
ヤウニ肥ツテ居リマシテモ、内容ガ充實シ
テ居ナケレバ仕方ガナイ、ソレデ腕力ガ
強イト云フ、ソナ簡單ナコトデハナイ、
必ズシモソレガ目安デハナイ、併シナガ
ラ大體大キサガ分ルト云フ程度デアアル、
學者デモ此ノ意味ニハ色々アリマシテ、ソ
レノ作り方ハヤハリ從來ノ經濟觀念カラ、
主稅局等ハ課稅所得ヲ基ニシテ、計算的ニ
趨勢延長デ作ツテ居リマス、所ガ今ノヤウ
ニ計畫經濟デ行ツタノデハ意味ヲ成サナ
イ、酒ノ消費ハ三年平均デ幾ラト言ツテ
モ、計畫上米ガナケレバソレダケノ酒ハ造
レナイ、非常ニ計畫經濟的ニ進ンデ居リマ
ス、併シ今ノ經濟ガソレデ進ンデ行ケルカ
ト云フト、マダ細カイ隅々マデ行ケナイ、

ソレデ今ノ經濟所得ノ方カラ所得ヲ勘案シ、
從來ノ經濟所得カラ計算ラシ、色々ヤツテ
見マス。トヤハリ是ハヲカシナモノデ、サウ
大シタ間違ヒガナク出デ參リマス、デ達觀
ヲシテ申シテ居リマス、昨年モ私ノ達觀デ
アリマス、現在ハ機械的デアリマスガ、統
計局ナドデヤツテ居リマス、統計出シマ
スカラ、後カラ——出來ル、後ハ元カラ稅
務當局ガ從來ノヤリ方デヤツテ居ルヤウニ
國民所得ノ倉敷ノ問題ガ起リマシテ、今大
藏省ノ總務局デヤツテ居リマスガ、相當ノ
専門家ヲ招ビマシテ始終研究ヲシテ居リマ
ス、出シタモノニ付テモ、所得ヲ見積ル一
ツノ假定ト云フモノハ、色々議論ガアツテ
ヤツテ居ルノデアリマス、正直ニ申上ゲマ
スト、私ハ大體ヲ聽キナガラ一々ノコトハ
サウ重キヲ置カズニ、今後出タ所ヲ見マシ
テ達觀シテ一應考ヘテ行ク、コツチカラ致
シマス。トサウ云フコトヲヤツテ居リマス、
今從來ノ方法ト違ヒマシテ、物的ト申シマ
スカ、サウ云フヤリ方ヲ以テヤツテ居ルコ
トニ付テ、若シ御必要ガアリマシレバ、私
ガ申上ゲルヨリ其ノ方ヲ擔當シテ居ル政府
委員カラ一應申上ゲルコトニ致シマス、大
體サウ云フコトデアリマス。

○小山(倉)委員 モウ大臣カラサウ云フ風
ニ率直ニ御答辯ガアルト、私ノ質問スルコ
トガ大體無クナルノデアリマス、私モ全ク
同感デアリマスガ、兎ニ角五百億ト云フ目
標ヲ立テテ居ル、サウスルト一體農民ノ自
作米、詰リ自家用ノ米ヲドウ見ルカ、闇取
引デ以テ收支ガ大分違ツテ來ル、ソレヲド
ウ見ルカト云フコトニナツテ來ル、實ハ此
ノ數字ガムツカシイモノデ此ノ數字ガ宜イ
カ惡イカト云フコトハ出來ナクナツテ來ル

ソコデ政府委員ト質問應答ニナツテ居ル點
ガアルノデスガ、政府ハ二百三十億ト云フ
貯蓄目標ヲ昨年度ニ於テ立テラレタ、アト
五十億ヲ此ノ三月マデニヤラナケレバナ
ラス、併シ今日國民經濟ノ再組織ニナツテ
居ツテ、超重點主義ニナツテ居レバ、其ノ
間ニ而モ國費ヲ純計四百七十億圓モ使ツテ
來ル、併シ此ノ金ハ軍需資材ヲ大體ニ於テ
生産スル、軍需資材ニ向イテ行クモノダ、
サウスレバ國民消費ノ資材トシテ再生サレ
ルモノハ非常ニ少クナツテ參リマス、サウ
ナツテ來ルト物資ガ少クナツテ來テ金ノ値
打ガ段々下ツテ來ル、斯ウ云フ狀態ニナツ
テ來ル、サウ云フ際ニハヤハリ惠マレタ層
ト惠マレナイ層トガ、此ノ數年間ノ中ニハ
確然ト現ハレテ來ヤシナイカ、ダカラ其ノ
惠マレナイ層ヲ將來ドウシテ補助シテ行ク
カ、ドウシテ助ケ、ドウシテ引摺ツテ行ク
カト云フコトハ、國務大臣トシテ大藏大臣
ノ十分ナ御施策ヲ願ヒタイノデアリマスガ、
ソコデサウ云フ惠マレナイ層ガアリトスレ
バ、其ノ方面マデ貯蓄ヲ強制シナケレバナ
ラスト云フコトニナルト、無理ガ起ツテ參
リマス、其ノ無理ヲ成ベクサウ云フナイ方
ノ層ニサセナイデ、アル方ノ層ニ向ケベキ
デハナイカ、ダカラ今二百三十億ト云フ目
標ヲ立テテモ、其ノ目標ト多少違ツタカラ
ト云ツテモ、別ニ他ニ方法ガナイダラウカ、
ドウシテモソレヲヤラナケレバナラスト云
フト無理ガ起リマスカラ、第一ニ國民所得其
ノモノノ計算カラ茲ニ絶對無二ノモノデハ
ナイ、斯ウ云フコトニナレバ貯蓄目標ト云
フヤウナモノモ多少ノ加減ヲシテモ宜イノ
デハナイカ、斯ウ云フ質問應答ヲ今ニシテ
居ル譯デスガ、其ノ點ニ付テ大臣ノ御所見

ハ如何デスカ

○賀屋國務大臣 只今ノ生産ガ軍需物資ニ
向イテ居ルカラ、再生産ガ少イト云フコト
ハ御尤モデアリマス、一面再生産ハ進ンデ
居リマス、ト云フノハ從來ハ消費生産バカ
リヤツテ居リマシタ、今ハ方向ハ軍需生産
デアリマスガ、前ニ申上ゲタヤウニ事變以
來三百億以上ノ生産擴充資金ヲ持ツテ居リ
マス、是ハ物價モ上ツテ居リマスカラ、昔
カラ見レバ金額モ割引シテ見ナケレバナラ
ス、又申ニハ計畫宜シキヲ得ナイデ所謂未
働遊休ニナツテ居ルモノモアリマス、斯ウ
云フモノモ大袈裟ニ言ハレマスガ、全體的
ニ見ルトソレハ無論働イテ居ルモノガ多イ
ノデアリマス、日本ノ生産力ハ非常ニ伸ビ
テ居ルトモ言ヘル、唯戰時デアリマスカラ、
全生産力ノ増強ノ外ニ消費經濟生産力、生
産要素デアル原料、材料、人力ヲ軍需資材
ニ集中スル、斯ウ云フ觀點カラ致シマシテ
消費物資ガ少クナル、是ハ何處デモサウデ
ス、現在比較的悲觀論ガ多イノハ、身近ニ
サウ云フコトヲマザル感ズル、ソレカラ
軍需生産力ガ非常ニ殖エテ居リマスガ、殖
エタ以上ニ必要性ガ一方ニ出テ來ルノデア
リマス、始終足りナイ、此ノ缺乏感ハ前ヨ
リ經濟力ガ衰ヘタ狀態ノ缺乏感カ、或ハ經
濟力ガ非常ニ殖エタケレドモ今欲スルモノ
ニハ中々思フヤウニハナラヌト云フコトカ、
此ノ二ツノ吟味ヲ要スルと思フ、私ハ後者
ダト思フ、ソレヲ折テ前者ダト間違ヘテ、
色々日本ノ經濟力ヲ悲觀シテ、日本ノ社交
ノ部屋ニ於テ又汽車ノ展望車ニ於テ、昭和
十四五年頃最モ言ハレタノデアル、コンナ
モノガ「アメリカ」ノ日本輕蔑ノ意識ヲ強メ
テ居ルト思ヒマス、其處ニ觀點ヲ餘程變ヘ

テ行カナケレバナラスと思フ、是ハ資源ニ
シマシテモ機械ニシマシテモ人力ニシマシ
テモ戰爭資材ノ方ニ向ケラレル、ドウシテ
モ天然資源、生産設備、人力ト云フモノハ經
濟ノ根本デアリマスカラ、是ガ減ツタカ殖
エタカデ考ヘナケレバナラス、日本ハ皆殖
エテ居ル、戰爭ノ時ハ敵ノ砲彈、爆彈ニ依
ツテ破壊サレ、敵ニ土地ヲ奪取サレ、敵カ
ラ殺サレ、敵ニ捕虜ニナル、是デ資源、設
備、人力ガ滅ビル、有難イコトニハ日本ハ
其ノ何レニモ該當シナイ、逆ニ行ツテ居リ
マスカラ經濟力ガ非常ニ殖エテ居ル、唯ヤ
ル仕事ガ非常ニ大キナ仕事デアリマスカラ、
殖エタ經濟力デモ尙ホ足ラヌト感ズルト云
フ實情ニアルト思フノデアリマス、國民ノ
層ノ中デ所謂凸凹ガ出來ル、是ハ相當ニア
ルト思ヒマス、産業デモ所謂犧牲産業ノ方
面ガアリ、殷賑産業ノ方面ガアル、但シ一
方ニハ相當ニ課税ノ方法ニ於テ、或ハ經理
統制ノ方法ニ於テ、物價ノ閣取引モ多イノ
デアリマスルガ、今最モ大量ノ購買、詰リ國
家消費ガ今ノ國民全般ノ消費ノ大部分ヲ占
メテ居ル、其ノ中デモ軍需物資ガ大部分ヲ
占メテ居リマスガ、是等ノモノハ大體公定
價格ヲ基礎ニシタモノデ、適正利潤ヲ取引
サレテ居リマシテ、國民ノ個人的接觸部面
デハ閣ガ相當多イヤウデアリマスガ、取引
サレル量、金額カラ言フト、私ハマダ公定
價格ヲ取引サレテ居ルモノガ餘程多イノデ
ヤナイカト思ヒマス、是ハ餘程勘案シマシ
テ、前ヨリモ課税ノ幅ガ臨時利得ニ課税ス
ルヤウナコトニモナリ、價格ノ方ニ付テモ遺
憾ナ點モアリマスルガ、相當ニ適正價格ト云フ
ヤウナコトモ考ヘテ居リマス、是等ノ點ハ前
大戰當時カラ見マス、各國モ進ンデ居ル

ト思ヒマスガ、日本デモ相當進ンデ居リマシ
テ、所謂ボロイ儲ケモ相當アリマスガ、
段々ニ寧ロ是ガ殖エナイト云フカ、減ル傾向
ニ行ツテ居ルト私ハ思フ、一般犧牲産業ニ對ス
ル救済方法ナドモ、當事者カラ見ラレルナラ
バ相當ニ十分ト思ハレマスガ、是モ從來カラ
見レバ相當大幅ニ施設ヲ講ズル、益、其ノ方
向ハサウ云フ風ニ進メタイト考ヘテ居リマ
ス、サウシテ凸凹ノ生ジマス原因ヲナク
シテ參リマス、ナクシテ參ルガ、ソレハ御
話ノヤウニ一日ニハ參リマセズデ、顧慮ス
ベキ面モアルト思ヒマス、ソコデ私共モ直
接民衆ニ懇ヘマス時ニモ總テ是ガ——話ハ別
ニナリマスガ、平生ノ經濟デハ、事變前ニハ
一年ニ二十億トカ十億デヤツテ居リマシタ
ガ、今日ハサウ云フ時代デアリナイノデアリ
マシテ、何百億ヤル時代ニナリマシテ、是
ハ意氣込ミガ根本カラ變ラナケレバナラ
ス、ソレハ先ヅ何人モヤルダラウ、疲レタ
ラ戰爭ヲシナイト云フコトデハ濟マス、疲
レタト雖モ大イニ戰フト云フ日本將兵ノ意
氣、況ヤ健全デ元氣ナ者ハ五人前モ十人前
モヤルト云フ氣デヤツテ貰ハナケレバナラ
ス、特ニ時局ニ惠マレテ居ル人々ハ、ソレ
コソ將兵ガ命ヲ捨テ、或ハ財産モ犧牲ニ
シテヤツテ居ル間ニ、内地ニ居ツテ生命ハ
安全デ、尙ホ利得ガ多イノデアアルカラ、是
ハ最モ惠マレタ立場デアツテ、最モ多ク貯蓄
ヲシテ貰ハナケレバナラス、斯ウ云フ一般
ノ方針デ進ンデ居リマシテ、實際モサウ行
カナケレバナラスト思ヒマス、貯蓄ノ方針
ニ付キマシテモ、是ガ租税ノ三倍、四倍ト云
フ金ヲ貯蓄ニ依ツテ作ラナケレバナラスノ
デアリマスカラ、所謂一方カラ根コソギ出
サナケレバナラス、根コソギ出スコトハ、

ノ歴史ヲ持ツテ居ル租税理論 財政學ヲシテシ、數百年ノ經驗ヲ持ツテ居ル徵稅機構ヲ以テシテモ、稅デモ中々巧ク行カヌ、此ノ數年始マシタ全國的ノ貯蓄運動デ、而モ其ノ使命ハ稅ノ三倍モ四倍モ金額ヲ集メル、如何ナル標準デドウヤツタラ宜イカト云フ、其ノ熟練者ト云フモノハ、或ル意味デ日本ニハ居ナイ譯デス、併シヤラナケレバナラス、斯ウ云フ譯デス、ソレデ色々數年來經驗ヲ重ネマシテ、國民所得トカ、市民稅ト云フモノガ概念的デ標準ガ不完全デアルコトヲ頭ニ置カナケレバナラス、併シ一般標準トシテ何ヲ使フカト云フト比較の何カ安イモノヲ選ビ、ソレヲ如何ニ個別的ニソレニ付テ「モティフェイスン」ヲ加ヘナケレバナラスカト云フ方向ニ付テ指示シ、其ノ概念論ノ指示ノアリマシタ上ニ之ヲ實際ノ各個ノ狀態デ調整シテ行ク、大雜把ニ申スト是ダケノコトガ出來ナケレバイケナイ、概念論ダケデハ駄目デアリマス、ドウシテモ各個ノ具體的ノ狀態ニ應ジタ指示ガ必要デアル、ソコデ實際ヲ見マスト、熱心ナル町内會長デアルトカ、或ハ工場ノ貯蓄ノ世話ヲシテ居ル人ニハ、實ニ吾々ノ思ヒモ及バヌ程ノ周到ナ注意ト熱ト努力ヲ以テ

ヤツデ行ク、而モ其ノ指導員ハ別ニ専門家ヲ
ハナイ、他ニ自分ノ職業ヲ持ツテ居リナガラ町内ノ世話ヲシテ居ル、而モソレガ中々旨ク行ツテ居ル、サウ云フ人ヲ他ノ町内ノ指導ニ或ル意味デ頼ンデ、サウシテサウ云フ知識經驗ヲ殖ヤシテ行ク、中央ノ指導ニ付キマシテモ、同じ家族デモ寢タキリノ病人ガアルカナイカ、學校ニ行ク金ノ掛カル子供ガ居ナイカ、ドウ云フモノヲドウ云フ風ニ考ヘテ行クベキカト云フコトヲ一方指導シナガラ、其ノ運用ヲ適切ニ行ツテ各個ノ狀態ニ合フヤウニヤツテ行カナケレバ到底目的ヲ達スルモノデハアリマセヌ、是ハ困難ナコトデアリマスガ、其ノ方向ニ向ツテズン、進ンデ行キタイト思ヒマス、ソレカラ一方貯蓄ノ目標デアリマスガ、實ハ是モ初メテノコトデアリマシテ、第一回ノ昭和十三年ニ八十億ノ目標ヲ立テマシタ際ニモ、如何ナル考ヘ方、如何ナル金額ニスベキカト云フコトニ付テ相當思惱ンダノデアリマス、必要ナ方面ト可能ナ方面ト兩方ヲ考ヘテ行カナケレバナラス、不可能ナモノハ最善ノ努力ヲシテモ出來ナイ、サウ云フモノヲ目標シテモ是ハイケナイ譯デアリマス、必要性ト可能性ト、是ガ一致スルカシ

ガ、十六年度末マデデ大體四百六十億ノ所ニ行ツタ、尤モ五、六億ノ食違ヒハアリマスガ、大體三四「パーセント」位ノ差デ實行出來テ居リマス、理窟ハ兎ニ角、結果カラ云ツテ大體當ツテ居ルト思ハレル、細カク申シマスソレデハヲカシイデハナイカ、大體「インフレ」ガナイ目的デヤツテ居ルノニ、兎ニ角五年半位ニ通貨ガ平均發行高デ申シマスト三十七億位動イテ居ル、ソレダケノ食違ヒガアルデハナイカ、六百億、七百億モ財政支出ヲ致シ、サウシテ五年半位ノ間ニ昨年ノ暮マデデ丁度六百八十億ノ事變以來資金蓄積ニナツテ居ル、其ノ間デ三十億臺ノ食違ヒガアルカラ、相當ノ食違ヒガアリマスガ、大キイ眼デ見レバ割合能ク行ツテ居ル、「サンフランシスコ」マデ行クノニ「シャトル」マデハ間違ヒナク行ツテ居ル、五渾、十渾ノ傍ニ行ツテ居ル、ソコデ考ヘマスノハ、兎ニ角是ハ困難ナ事業デ容易ニハ出來ナイコトデアリマスガ、併シ是ハ出來ナケレバ困ルコトデアリマスカラ、多少無理ガアリマシテモヤルノダト云フ決意、先ヅ此ノ決意ガ第一番デアルト思フノデアリマス、ソコデ今貯蓄局長モ先ヅ目標ト云フコトヲ申シマシタガ實際ハ細カク論ズルナラバ目標

○小山(倉)委員 最近貴族院ラビヲ政府當局トノ間ニ行ハレタ質問應答ノ形ヲ見マス
ト、最近ノ郵便局ト云フモノハ非常ニ整理
ガ困難デ人員ガ少イ、局舎モナイ、事務室
モナイ、斯ウ云フコトデアア云フ多額ノ貯
金ヲ扱フト云フコトデハドウカト思ヒマス
カラ、私ハ寧ロ市街地或ハ其ノ他ノ地方ノ
郵便貯金、振替或ハ其ノ外多數ノ事務ノ
中、或ハ寧ロ銀行ノ方ニ讓ツタラドウカト
云フ考ヘヲ起スノデスガ、其ノ點ハ如何デ
セウカ、郵便ノ「ブローパー」ノ仕事トカ僅
カナ從來ノ事務ハソレデ宜シウゴザイマス
ガ、寧ロ機關ノ備ハツタ銀行ノ方ニヤツタ方
ガ、モツト國民ノ信用モ付イテ行ク、サウ
シテ貯金ノ目的モ達シハシナイカト思フノ
デスガ、簡單デ宜シウゴザイマスカラ、其
ノ點ニ付テ御伺ヒシタイト思ヒマス

○賀屋國務大臣 是ハ一ニ勞力資源ノ問題
デアリマス、日本ナドハ、マダ結果論カラ
見マシテモ、動員係數ガ今ノ世界ノ大國ニ
比シテ低イノデアリマシテ、マダ此ノ位デ
アリマスガ、「イギリス」ナドハ、銀行ハ四割
位ハ店ヲ閉メテ居ル、吾々ハソレヲヤリタ
クナイ、併シ銀行ハ非常ニ勞務ガ足りナイ
カラ勞務ノ甲ノ部類ニ加ヘテ呉レ、加ヘテ

モ足リナイ、郵便局ノ仕事カラ見レバ是非増サナケレバナラヌ面ガ多イノデアリマスガ、全體ノ人的資源ノ配置カラ増シ得ナイ、行政簡素化ナドト云フモノモ、ヤハリ同ジ趣旨デ出来テ居リマスノデ、ドウシテモソコニ困難ガアリマス、是ハ世界的ニハ一番樂シテ居リマス日本デアリマスガ、日本デモ困難ヲシテ居ルノデアリマスガ、銀行デモ非常ニ人ガ足リナイ、銀行内部デモ非常ニ執務方法ノ簡素化ヲ致シマシテ、斯ウ云フコトデ人手ヲ何人浮カスト云フヤウナコトデ、金融統制會ナドニ仕事ヲヤツテ居リマスガ、アソコデモ非常ニ今デハ苦シンデ参リマシテ、唯「イギリス」ノヤウナ段階ハ無論参リマセズ、唯今御話ノヤウナコトヲ急ニ致ス譯ニハ参リマセズガ、國債、債券ノ賣買等ニ付キマシテハ、今以上ニ銀行ヲ非常ニ活用シテ行キタイ、今度ノ御協賛ヲ願ヒマス法律案ナドデ、例ヘバ經過利子ナドヲ本當ニ正確ニ計算シナイデ、十錢トカ二十錢トカ「ラウンド・ナンバー」デ切ツテヤル、サウスルト非常ニ早ク分リ易ク仕事ガ出来ル、サウスルト多少ノ損失ヲ取扱者ガ受ケル場合ニハ、國家トシテ補助シテモ宜イ、大シタコトデハアリマセズ、左様ナ簡單ナ方法デ債券、國債其ノ他ノ賣買機構ト云フモノヲ作ツテ行キタイト思ヒマス、サウ致シマスト側面的ニ郵便局ノ仕事モ或ル程度ソコデ緩和出来ルノデハナイカト思ツテ居リマス、大體今ソンナヤウナ所デアリマス

○由谷委員長 西尾君

○西尾委員 今小山君カラ色々御話ガアリマシタヤウニ、非常ニ國民貯蓄ト云フモノガ困難ニナツテ来テ居ルノデアリマス、昨年ハ國民總所得ガ四百五十億圓デアツタ

ノガ今年ハ五百億圓ニナツテ、五十億圓増エテ来テ居ル、ニモ拘ラズ一方ニハ國民ノ所謂生活費ニ充テラレルベキモノガ、昨年ハ百五十億デアツタノガ、今年ガ百三十億ニナツタ、斯ウ云フ風ニ總所得ハ、即チ總生産力ハ上ツテ居ルケレドモ、其ノ上ニ國家ノ要請トシテ國民生活ハ切詰メナケレバナラスト云フコトニナツテ来テ居ル、一方從來國民ノ持つテ居リマシタ着物デアルトカ其ノ他ノ「ストック」ハ五、六年ノ事變ニ依ツテ段々消費シテ行ク、又金錢上ノ「ストック」即チ幾ラカ貯蓄ヲ持つテ居ツタ者モ段々ハ少クナツテ来テ居ル、ト云フヤウナ狀態デアリマスルカラ、國民貯蓄ノ率ト云フモノハ非常ニ狭メラレテ来タノデアリマス、此ノ中デ而モ二百七十億ノ貯蓄ヲシナケレバナラスト云フコトニナツテ来タシ、私ハ又是ハ出来ルト思ヒマス、從來見ル所ニ依リマス、中産ト云フヨリモ、中産ノ上ノ方ニナリマスモダ「大イニ國民貯蓄ヲスル、生活ヲ切詰メル餘地ガ多分ニアルト思ヒマス、私ハ是ハ出来ルト思フノデアリマスガ、唯私茲デ其ノ點ニハ大イニ努力ヲシテ貰ヒタイノデアリマスガ、一面ヤハリ小山君ト同様ニモウ國民貯蓄ニ耐ヘ切レナイト云フモノガアルト思フノデアリマス、例ヘテ言フト、茲ニ八十圓ノ收入ノアル人デ、家族ガ五人アルトシテ、一體八十圓デドウシテ暮シテ行クンダト云ツテ豫算ヲ立テルト、ドウシテモ豫算ハ立タナイ、何カ五圓カ十圓足ラヌヤウニナル、ソレナラ毎月ソレダケ借金ヲシテ行カト云フト、豫算ハ足ラナイガ實際ハ何トカヤツテ居ルト云フノガ實情デス、ソレカラ今度ハ二百圓、三百圓ノ者ニ豫算ヲ立テサセルト、二十圓カ三

十圓カ殘ルヤウニナル、併シ實際ソレデハ貯金ガ出来テ居ルカト云フト、却テ借金ガ殘ツテ居ルト云フノガ社會生活ノ實情デアリマスカラ、一般ノ中以下ノ苦勞シテ生活シテ居ルト云フ部面デハ非常ニ困難ヲシテ居リマスガ、此ノ點ヲ十分ニ御考慮アルコトト思ヒマスガ、此ノ二百七十億ノ貯蓄ハ尙ホ國民生活ヲウント切詰メ得ル層ニ向ツテ集中的ニ重點ヲ置イテシテ貰ヒタイト私ハ希望シテ居ルノデスガ、ソレニ對スル御考ヘヲ伺ヒタイ

モウ一ツハ國民貯蓄ノ極度ニスルト云フコトニ付テハ、ヤハリ國民生活ヲドノ程度ニマデ、辛抱シテ貰ハナケレバナラヌカト云フ最低國民生活費ニ付テモ一應ハ御考慮ガアルコトト思フガ、此ノ點ニ付テモ御伺ヒ致シタイ

○賀屋國務大臣 先ヅ前段ノ御質問ニ御答ヘ致シマス、御話ノ通り餘裕ノアル階級ガウントヤラナケレバナラヌト云フノハ其ノ通りデアリマス、私モ先般軍事費ノ提案ニ當リマシテモ、平均一割五分バカリノ實質的生活ノ切詰メヲヤル——家計簿カラハ一割五分ニハナリマセズ、是ハ間接稅モ入リマスカラ、——併シ實質上切詰メラレテ居ル、併シナガラ實際ニハ一割ノ切詰メモ出来ナイ層ガ中々多イノデアルカラ、餘裕ノアル方ハ二割三割、所得ノ多イモノハ四割モ五割モヤツテ貰ハナケレバナラヌト云フコトヲ申シマシタ、洵ニ御説ノ通りニ行カナケレバナラヌト思ヒマス、唯實際ヲ申上ゲマスト、日本ハ今大分金持ガ出来マシタガ、所得ノ階層カラ言フト、上ノ方ガ少ナイノデアリマス、上ノ方ガ全額ヤツタ所デ小サ

イ、ヤハリ俗ニ言フ中ノ一番下以下ノ階層ガ何ト云ツテモ所得ノ大部分、消費ノ大部

分ヲ占メテ居ル譯デアリマスカラ、此ノ階層ニドウシテモ熱心ニヤツテ貰ハヌト出来マセズ、ソレカラ經濟的ニ申シマシテモ、割合ニ贅澤ヲ消費ハゲン——精神的ニモ押ヘル方向ニ向ツテ居リマスカラ、物的方面カラ見ルト、割合ニ少ナイ物資ヲ多少ノ覺悟デ高ク買ツテ居ル方面ガ多イ、今年ノ酒デモ、上等酒ト並酒トハ生産力ハ十八錢シカ違ハヌデ、販賣價格ハ七圓ト三圓五十錢デ三圓五十錢モ違フ、社會的ニモ一般ニサウ云フ問題ガアリマス、併シ今ノ消費ハ生活消費ヲ出来ルダケ切下ゲテ、生活消費ノ對象物タル物資ノ生産ニ要スル原料、材料、而シテ勞力ト云フモノヲ集中スルコトニナレバ、ドウシテモ大衆消費ノ切詰メト云フコトガ必要要件ニナツテ来ルノデアリマス、此ノ點ハ經濟上カラ考ヘルト、先ヅ上層階級ハウントヤルト同時ニ、一般ノ國民大衆ノ方面モヤル、詰リ他ニ轉嫁シテ俺ハヤラヌト云フコトデナク、皆大イニヤラウ、其ノ中デ上層階級ハ特ニ自ラ省ミテ大イニヤル、ヤハリ總進軍ノ氣持デ是非ヤツテ戴キタイト考ヘテ居リマス

ソレカラ第二段ノ御質問ハ理論的ニ最モ大事ナ點デアリマス、併シ今御話モアリマシタヤウニ、榮養ヲ一通リ攝ツテ、最少限度ノ生活要件ヲ滿タスノニ幾ラ金ガ掛ルカト計算シマス、必ズ高イモノガ出テ来ルノデアリマス、併シ實際ヤツテ見マスト、御話ノヤウニ必ズシモサウモイカス、詰リ標準ヲ作ルト、何カ十分ナモノガ見積レスト云フヤウナ、色々ナ觀點デ行キマシテ、實際ノ問題トシテ使ヘナイコトニナツテ居リマス、ソコデヤハリ是ハ主觀的ニドン自分ヲ省ミテ、自分デドウシタラ此處

ハ省ケルカ、私ハ、前カラ申上ゲテ居リマ

スヤウニ、健康ト教育ハ是非必要ダと思フ、

ソレ以外ハ出來ルダケ省イテ行ク、ハ省

ケヌデハナイカト云フ考ヘ方ヨリ、ドウシ

タラ省ケルカト云フ考ヘ方デ各自ガ主觀

的ニ考ヘテ行クヨリ外ナイ、然ラバ主觀ニ

任スカト云フト、ソレデハ甚ダイカスト思

フ、其ノ主觀ヲ金錢ニ形造ルヤウナ色々ナ

材料ヲ、斯ウシタラ節約出來ル、斯ウ云フ

内職ヲヤラスレバ是ダケ殖エル、斯ウ云

フヤウナ考ヘヲ注入スルト云フモノガ政府

ノ施策或ハ民間ノ運動トシテ續々出テ來ナ

ケレバナラス、同時ニソレガ實行出來ル

ヤウナ斡旋ガ必要ダと思ヒマス、又個人ハ

皆英雄デアリマセヌカラ、戰時ニハ質素ニシ

ロト云フケレドモ、例ヘバ婚禮ニ付テハ、ド

ウシテモ仲間近所ノ習慣ガ此ノ程度ノモノ

ヲヤルト云フ時ニ、自分ダケガ思切ツテ簡

素ニヤルト云フコトハ、是ハ多クノ人ニ望

ミニクイコトデアリマス、サウスレバ社會

環境其ノモノヲ簡素ニヤリ得ルヤウナコト

丸トシタ組織デヤルト云フコトデアリマス、
其ノ場合ノ徵用工ノ收入ガ全收入カラ著シ
ク減少シタ場合ニハ、援護會等ヲ通ジテ國
家ガ其ノ差額ヲ九十圓マデハ補償スル、斯
ウ云フコトニナツテ居ルノデスガ、九十圓
ト云フ所ニ基準ヲ置キマシタノハ、何方國
民生活ト云フ問題トモ關聯シテ來テ居ルノ
デハナイカト思フノデスガ、九十圓ト決メ
タノハドウ云フコトデゴザイマセウカ
○賀屋國務大臣 今一寸其ノ具體的ナ理由
ヲ、申譯アリマセヌガ、私承知シテ居リマ
セヌ、是ハ必要ガアリマシタラ厚生省ノ方
カラ御答辯申上ゲマス
○西尾委員 同ジク徵用工場ニ付テ、勞務
者ヲ徵用工ルト共ニ會社ノ幹部モ徵用工ル
ト云フコトデアリマスガ、此ノ點ニ付テ、
會社ノ幹部ノ「サラリー」或ハ利益配當、賞
與等ハドウスルノダト厚生省ノ方ニ聽キマ
シタラ、厚生省ノ政府委員ノ言ハレタ例デ
參リマス、極端ナ例デアリマスガ、今マ
デ五百圓取ツテ居ツタノ、ガ六十圓ノ給與シ
カ貰ヘスト云フコトニナリマス、其ノ著
シイ差額トシテ九十圓マデハ差額ヲ補償ス
ル、三十圓ダケ補償シテ貰ツテモ、五百圓
ノモノガ九十圓ニナツタ、徵用工ト云フ形ハ
整ヘタケレドモ、會社ノ幹部級ノモノハ以
前ノ收入トノ間ニ多額ノ差ガ出來ル、形ハ
整ヘテ居リマスケレドモ、企業國家性ト云
フモノヲ明カニシテ、徵用工ノ能率ヲ高メル
ト云フ目的ニ適ハナイヤウナルノデハナ
イカト云フ質問ニ對シテハ、厚生省ニ關ス
ル限り、ソレハ分ツテ居ナイ、是ハ會社經
理統制令等ニ依ツテヤルノダ、斯ウ云フ厚
生省ノ御答辯ガアツタノデアリマス、是ハ
當然大藏省ノ主管ノ仕事ダと思ヒマス、是

ハ大藏省ハ御關係ガアラウト思ヒマスノデ

御伺ヒ致シマス

○賀屋國務大臣 甚ダ不調法デ御質問ノ趣

旨ノ分リ兼ねル所ガアリマスガ、ソレハド

ウ云フ風ナ處理ヲ致シテ居リマス、私其

ノ主管ノ局長ニ聽キマシテ御返答申上ゲル

コトニ致シマス、大體ハ普通勞務者ニ採用

シマス場合ニ、非常ニ多額ナ收入ガアリマ

ス人ヲ非常ニ少イ收入デ持ツテ行クト云フ

コトニスル場合ハ、實際ニハ餘リ效用ガナ

イ場合ガ多イノデアリマシテ、高級ナ事務

ヲ執ル社員ヲ勞務者ニシマシテモ餘リ役ニ

立チマセヌ、九十圓ト云フコトモ、ドンナ

ニ差額ガアツテモ九十圓ヨリヤラスト云フ

コトバカリデナク、大體其ノ位ノ補給ナラ

行ケル範圍ノ人デ濟ムト云フ人ヲヤル見込

デアリマス、何レ研究致シマシテ御答ヘ申

上ゲマス

○西尾委員 モウ一點ダケ御尋ネ致シマス、

私ハ國民貯蓄ノ甚ダ困難デアルト云フコト

ヲ先程申上ゲタノデアリマスガ、ソレニハ

メル、併シ料理屋デ飲ムト税金ガ加ハツテ
十圓五十錢ニナルノデアリマスガ、金サヘ
出セバ十圓五十錢ノ酒ガ飲タルト云フコト
ハ、國民貯蓄ヲ今後國民ニ要求シテ、如何
ニ上カラ言ヒ、質實剛健ナ生活ヲ國家ガ要
望スルニ致シマシテモ、ドウシテモ是ハ矛
盾ガアルノデハナイカ、何ヲ苦シンデソ
ナ酒ヲ造ラナケレバナラスカト云フ疑問ヲ
持ツテ居ツタノデアリマスガ、増税委員會
ノ人カラ話ヲ聞キマス、記録ヲ見タノデ
スガ、何處ニアルカ分ラヌノデスガ、何デ
モ技術保存ノ爲ニ必要ダト云フ御話デス
ガ、私ノ聞ク所デハ、ソシナ酒ヲ戰爭中ニ
三年廢メテシマツタ爲ニ技術ガナクナツテ
困ルトモ思ヘヌ、宮内省等ニ獻納致シマス
オ酒ハ別ニ造ルノデアリマスカラ、サウ云
フ方面デモ技術位ノコトハ保存出來ルノデ
ハナイカト思ヒマス、ドウシテモ是ハ納得
ガ行カヌノデアリマスガ、御説明ヲ願ヒマ
ス
○賀屋國務大臣 是ハ三圓五十錢ト七圓ト
云フノガ間違ヒズ、七圓ハ税込ミデスカラ、
七圓ノ釐澤ヲスルノデハナイ、今數字ヲ忘
レマシタガ、並等酒ハ一圓五十錢、上等酒
ハ一圓六十八錢ダカラ十八錢シカ違ハナ
イ、僅カ十八錢釐澤ヲスル爲ニ三圓五十錢
ノ稅ヲ拂フト云フノデ、釐澤ノ程度ハ少イ
ノデアリマス、併シ外ヘ行クナラウント出
ス、是ハ今ノ思想ハ、着物デモ、一律ニシ
タラ宜イデハナイカト云ツテモ、色々等差
ノアル着物ヲ着テ居ル、是ガヤハリ世間全
體カラ見マシテ色々ナ考察ヲ要スル、今ノ
段階ハマダ全部ノモノガ一ツダト云フ譯ニ
ハ行カナイノデアリマス、今ノヤウニ少シ
ノ差等ヲ設ケ、稅ハ三倍モ取ラレル、餘計

貢獻スル、日本モ色々ナ機會ニ貢獻スルモノガ要ル譯デアリマスカラ、七圓ニ相當スル實價ノモノヲ贅澤スルノニアラズシテ、贅澤ハ僅カ十八錢、一割カ一割二、三分違ツテ居ル、税ハ三倍モ掛ル、斯ウ見マス、大分私ハ觀點ガ違ツテ來ルト思ヒマス、酒ナドガ今回ノ改正ニ依ツテ非常ニ澤山ノ種類ノモノガ整理サレル、七圓ニシロト云フノモ、私ガシタ、ナゼカト云ヘバ、原價ガ今ノヤウニ安イカラ、モツト高ク、五圓ニ賣ツテモ宜イ、七圓ニ賣ツテモ宜イ、表面贅澤ノヤウニ見エマスガ、贅澤ニ對スル大キナ貢獻ノ對價ヲ拂フ、斯ウ云フヤウナ考ヘ方デ行ツテ居リマス

○由谷委員長 小山君、貯金局長ノ分ヲ繼續シテ呉レマセヌカ

○小山(倉)委員 先程二百三十億ノ貯蓄ノ目標ヲドウ云フ風ニ扱フカト云フコトニ付テハ局長ノ御意見ト大臣ノ御意見ト一致シタコトヲ承知致シマシタ、成程其ノ決心デ貯蓄ヲ厲行サレルコトハ必要デアルト存ジマス、ソコデ私ノ疑問ノ起リマスノハ、下層階級ト申シマスカ、サウ云フ層ノアルコトハ既ニ御承知ノコトト思ヒマスガ、最近質屋デハ物ヲ質入シナイデ、大抵債券ガ多イノデス、ソレニ對シテハ六割位ノ借入ヲスルトカ或ハ七割、八割ノ借入ヲシマスガ、公債トカ勸業債券、貯蓄債券、報國債券ト云フモノガ非常ニ多イノデアリマス、斯ウ云フ連中ハドウスルカト云フト、一方ハ割當ノ方ノ貯蓄ニ振向ケナケレバナラス、一部ハ生活ノ方ニモ振向ケナケレバナスト云フノデ、債券ナリ或ハ貯蓄債券ガ現金化シマツテ居ル、斯ウ云フ事實ガアルノデアリマシテ、隨テ統計ニ現ハレタ貯蓄ハドレダケ、債券

ハドレダケ、公債ハドレダケト云フヤウナ多少ダブツタ數字ガ現ハレテ來ルノデアラウト思ヒマス、併シ是レトモ、其ノダブツタノハ怪シカラスト云フノデハナイノデアリマシテ、サウ云フダブツタ數字ハドノ位デアリマスカ、其ノ御見當ハオ付キニナリマセヌカ

○氏家政府委員 債券ノ質入ノ問題デアリマスガ、債券ガ非常ニ澤山質入サレルト云フノデ、或ル縣デ調べサセタコトガアルノデアリマス、質入ハ相當アリマスケレドモ、吾々ガ考ヘテ居ル程流レルモノハ少ナイト云フヤウナ調査ノ結果ヲ見タノデアリマス、ソレカラ又質入シタト云フノハ必ズシモ要ラナイモノヲ持タサレタカラ、之ヲ質入スルト云フ風ニモ思ハレナイノデアリマス、又債券ヲ持タサレタ爲ニ生活ガ苦シクナツテヤリ切レナイカラ、質入ヲスルト云フ譯デハナイノデアリマス、サウ云フ者モアルカモ知レナイガ、債券ヲ隣保消化スルヤウニナツタカラ、質屋ノ貸ス金ガ非常ニ多クナツタト云フ譯デハナイノデアリマス、要スルニ段々斯ウ云フ世ノ中ニナツテ參リマシタノデ、質屋ガ或ハ元ノヤウデナイカモ知レナイノデアリマス、ソコニ債券ガ現ハレテ來テ——私ハ餘リ質屋ト云フモノニハ出入リシタコトガナイノデスガ、恐ラク家財道具ナンカヲ持込ムヨリハ、債券ヲボツト懷ロニ入レテ、質屋ノ暖簾ヲ潜ツタ方ガ潜リ良イト云フヤウナコト、又質屋トシテモ値段ニ付テモ他ノ品物デアレバ五圓ノモノヲ三圓ト踏ムコトモアルデセウガ、債券ノヤウナモノデアレバ大體ノ見當ガ付クト云フヤウナコトカラ、質入ニ便利デアルト云フヤウナコトモアルダラウト思フノデアリマスカラ、

債券ノ質入ガ行ハレルコトハ必ズシモサウ排斥スル程デモナイヤウニ思ハレルノデアリマス、唯心配ナコトハ質屋ガ割ニ安ク之ヲ取ツテ、サウシテドシ——ト流レルヤウナコトニナリマス、工合ガ惡イノデアリマス、ソレデ之ヲ成ベク債券ニ付テモ小額國債ト同ジヤウニ質上制度ヲ設ケテ、適正ナ價格デ定ツタ手數料ヲ以テ政府ガ買上ゲルト云フ方法ヲ取ルヤウニシマスレバ、質入ノ方モ自然ニ止メルト云フコトニナルノデアリマス、思ハレルノデアリマシテ、債券ノ質上制度ニ付テハ目下着々準備ヲ進メテ居ルノデアリマス、ソレカラ洵ニ申上ダ兼ネルノデアリマスガ、ダブルト云フ關係ハ一寸聽キ漏シタノデ、モウ一度御話願ヒタイト思ヒマス

○小山(倉)委員 ソレハ貯蓄ヲ銀行ナラ銀行ニシテ居ル、其ノ場合ニ其ノ金ヲ取り出シテ、銀行デ一部債券ヲ買ヒ、其ノ帳面ノ付ケ替ヘノ終ラス中ニ、一方ハ預金トシテ殘ル、一方ハ債券、公債ナラ公債トシテ記帳サレル、斯ウ云フヤウナ場合モ相當アリハシマセヌカ、ソレカラ現金トシテ殘ツタト思ツタガ、是ハ債券化シテ居ル、其ノ場合ニ、マダ記帳ガ終ラスト云フ場合モ想像サレル、ソレカラ質入シタモノハドン——現金化シテ居ル、公債ヲ持ツタト思フト、ソレヲ直ガ離レテシマウ、ソレデ公債ヲ持ツテ居ル人ハ割合ニ少クテ、中流以下ノ大抵ノ者ハ、公債ヲ持タサレバ、ソレヲ直ダ賣ツテシマウ、而モ賣ツタ金デ又買フ、今度ハ又ソレモ賣ツテシマウト云フコトデ、各個人ノ手ニ殘ル公債ト云フモノハ少イ、サウ云フ狀況ガ現狀デアリマス

○氏家政府委員 銀行ニ預ケテ置キマシタ金ヲ拂戻シテ、國債ヤ債券ヲ買ツタ場合ニ於キマシテハ、國民貯蓄ノ計算上ハ、銀行ノ預金ガ減ツテシマウ、サウシテ國債ヤ債券ノ方ノ貯蓄ガ殖エルト云フ形デアリマスカラ、ソレデハ國民貯蓄ノ總體ハ殖エモ減リモシナイ、斯ウ云フ計算ガ出デ參リマス、ソレカラ或ル人ガ國債ヤ債券ヲ持ツテ居リマシテ、ソレヲ質入シマシテモ、ソレハ國民貯蓄ノ計算ニハ異動ヲ來サナイ、斯ウ云フコトニナルノデアリマス、貯蓄ト云フコトト國民貯蓄ト云フノトハ意味ガ大分違フノデアリマシテ、國民貯蓄ト云フノハ、國民ノ貯蓄ノ中デ國債消化資金ナリ、或ハ生産擴充等ノ國家的ニ必要ナ産業資金ニ動員サレ得ル、狀態ニ置カレタ貯蓄、斯ウ云フモノヲ指シテ居ルノデアリマス、隨ヒマシテ他ノ分リ易イ例カラシマス、自分個人デハ貯蓄ヲシタ積リデ居ツテモ、ソレガ國民貯蓄ニナラナイトカ、或ハ個人ガ貯蓄シタ積リデ居ル金ガ其ノ儘二百三十億ニ入り込マナイト云フヤウナ場合ガ随分アルノデアリマス、當座預金ノヤウナモノハ幾ラシマシテモ是ハ今日ノ計算デハ國民貯蓄ヲ増加スル理由ニハナラナイ、斯ウ云フコトニナツテ居ルノデアリマス、ソレカラ例ヘバ保險ノ掛金ノヤウナモノデアリマス、百圓掛ケマシテモ、百圓ガ全部國民貯蓄トシテ計算サレル譯デヤナイノデアリマス、デ個人ノ貯蓄ト國民貯蓄ト云フノハソコニ稍、觀念ノ違ツタ所ガアルノデアリマス、何レニ致シマシテモ、御話ノヤウナ場合ニ於テ、國民貯蓄ノ計算上ダブツテ出テ來ル、隨テ國民貯蓄ガ實際以上ニ膨レテ現レルト云フヤウナコトハナイヤウニ、其ノ邊ハ十分注意シテ計算方法ヲ定メテ居ルノデアリマス、

○氏家政府委員 銀行ニ預ケテ置キマシタ

金ヲ拂戻シテ、國債ヤ債券ヲ買ツタ場合ニ於キマシテハ、國民貯蓄ノ計算上ハ、銀行ノ預金ガ減ツテシマウ、サウシテ國債ヤ債券ノ方ノ貯蓄ガ殖エルト云フ形デアリマスカラ、ソレデハ國民貯蓄ノ總體ハ殖エモ減リモシナイ、斯ウ云フ計算ガ出デ參リマス、ソレカラ或ル人ガ國債ヤ債券ヲ持ツテ居リマシテ、ソレヲ質入シマシテモ、ソレハ國民貯蓄ノ計算ニハ異動ヲ來サナイ、斯ウ云フコトニナルノデアリマス、貯蓄ト云フコトト國民貯蓄ト云フノトハ意味ガ大分違フノデアリマシテ、國民貯蓄ト云フノハ、國民ノ貯蓄ノ中デ國債消化資金ナリ、或ハ生産擴充等ノ國家的ニ必要ナ産業資金ニ動員サレ得ル、狀態ニ置カレタ貯蓄、斯ウ云フモノヲ指シテ居ルノデアリマス、隨ヒマシテ他ノ分リ易イ例カラシマス、自分個人デハ貯蓄ヲシタ積リデ居ツテモ、ソレガ國民貯蓄ニナラナイトカ、或ハ個人ガ貯蓄シタ積リデ居ル金ガ其ノ儘二百三十億ニ入り込マナイト云フヤウナ場合ガ随分アルノデアリマス、當座預金ノヤウナモノハ幾ラシマシテモ是ハ今日ノ計算デハ國民貯蓄ヲ増加スル理由ニハナラナイ、斯ウ云フコトニナツテ居ルノデアリマス、ソレカラ例ヘバ保險ノ掛金ノヤウナモノデアリマス、百圓掛ケマシテモ、百圓ガ全部國民貯蓄トシテ計算サレル譯デヤナイノデアリマス、デ個人ノ貯蓄ト國民貯蓄ト云フノハソコニ稍、觀念ノ違ツタ所ガアルノデアリマス、何レニ致シマシテモ、御話ノヤウナ場合ニ於テ、國民貯蓄ノ計算上ダブツテ出テ來ル、隨テ國民貯蓄ガ實際以上ニ膨レテ現レルト云フヤウナコトハナイヤウニ、其ノ邊ハ十分注意シテ計算方法ヲ定メテ居ルノデアリマス、

ソレカラ、別ニ是モ言葉尻ヲ擱ヘルト云フヤウナ意味デアリマセヌガ、何カ公債ヲ買ツタ人ガ右カラ左ヘドシ、賣ツテシマフト云フ風ナ御話モアツタノデアリマスガ、實ハ是モ隨分サウ云フ話ヲ私共モ耳ニ致シテ居ルノデアリマス、併シ調査シテ見マス、ソレ程買ツタ公債ヲ右カラ左ヘ手放シテ居ルモノデハナイヤウデアリマス、唯實際組長ヤ何カガ、國債債券ヲ買ツテ下サイト云フヤウナコトヲ行キマス、ナニ無理ヲシテ賣付ケタツテ駄目デスヨ、ソナモノハ右カラ左ヘ賣ツテシマフダケデスヨ、此ノ前ノモ皆賣ツテシマヒマシタ、ト云フヤウナコトヲ言フラシイノデアリマスガ、ソナニ口デ言フ程サツサト賣ツテシマフモノデヤナイヤウニ私共デ調ベタ所デハ見テ居リマスカラ、念ノ爲メ申上ゲテ置キマス

○小山(倉)委員 ソレナラバ結構デアリマスガ、私ノ是カラ御質問申上ゲタイノハ其ノ爲デス、例ヘバ公債債券ガ消化サレタト思フト、ソレガ總テ現金化サレル、其ノ現金化サレルト云フ結果所謂通貨ノ膨脹ヲ來サナイカ、ソレモ大イナル原因ニナラヌカ、斯ウ云フ點デアリマス、ソコデ一ツ次官ニ御伺ヒ致シタイノデアリマスガ、昨年度ニ於テハ、通貨ノ發行ハ平均五十二億何ガシニナツテ、一番多イ時ハ七十四億ニナツテ居ルノデスガ、是カラノ國家資金ノ放出ト云フモノハ相當額ニ達シマスガ、來年度ニ於キマシテハ通貨ノ膨脹額ハドノ位ノ御見込デアリマセウカ

○谷口政府委員 是ハ難カシイ御質問デアリマスガ御承知ノ通り通貨ノ發行額ニ付キマシテハ大藏大臣デ一應決メルト云フコ

トニナツテ居リマス、本年ハ六十億ニソレヲ決メテ居ルノデアリマス、是ハ來年度ニナリマスレバ、來年度ノ最大ノ發行額ト云フモノヲ又決メルトニナル譯デアリマス、此ノ決メ方ニ付キマシテハ、今マデ、過去ノ趨勢デアリマス、又財政資金ノ放出ノ程度デアリマス、色々ノ材料ヲ集メマシテ見當付ケテ居ルノデアリマス、七十年度ニ於キマシテモ、六十億ト云フ見當ヲ付ケマスノニ付キマシテハ、左様ナ色々ノ材料ヲ集メマシテ一應ノ見當ヲ付ケマシタノデアリマスガ、此ノ見當ノ付ケ方等ニ付キマシテハ、是ハマダ研究ノ届カナイ分野ガ相當ニアルト思ハレルノデアリマスガ、一方其ノ研究ヲ續ケツツ、從來出來ルダケノ材料ヲ集メマシテ、大體ノ見當ヲ付ケテ來テ居ルノデアリマス、來年度ニ於キマシテモ亦サウ云フ色々ノ材料ヲ集メマシテ——十七年度ノ額ヨリハ何レ相當多額ニナルグラウトハ思フノデアリマスガ、是ハ今申上ゲマシタヤウニ、色々ノ材料ヲ集メマシテ、大體ノ見當ヲ付ケルト云フコトヲ是カラ致スノデアリマシテ、御質問ニ應ジマシテ何十億ト云フコトヲ的確ニ申上ゲルトハ只今ノ所デハ一寸難カシイノデアリマス、御諒承願ヒタイト思ヒマス

○小山(倉)委員 國民所得ニ關係致シマスシ、或ハ物價問題ニ關係致シマスカラ、大體ノ數字ヲ御伺ヒシタ譯デアリマスガ、ソコデモウ一點ハ、官公吏全部ノ俸給ノ總額ヲ御伺ヒ致シタイノデスガ、官吏諸公ヲ此處ニ置キマシテサウ云フ御質問ヲ申上ゲマスコトハ洵ニ恐縮デアリマスガ、詰リ俸給ノ給與ト手當ノ給與ト云フ問題マデ出シテ居ルノハ、生活ノ保障ヲナシ、其ノ安定ヲ得、

以テ官吏或ハ吏員ノ矜持ヲ維持シヨウト云フ趣旨カラ出テ居ルノデアラウト思フノデアリマス、サウ云フ方面カラ考ヘテ、或ハ強制貯蓄ノヤウナ組合ヲ作ツタリ、或ハサウ云フ組織ヲ作ルト云フコトハ少シ無理デヤナイカト云フ氣ガスルノデアリマスガ、併シ國民ノ師表タルガ爲ニ、其ノ表現ノ一部トシテサウ云フ組合ヲ作ツテ、官吏自ラ國民ニ範ヲ垂レルト云フ御趣旨デアリマセウガ、實情ハサウデヤナイノデヤナイカ、殊ニ下級官吏、警察官——警察官ナシカハ大分闊デ儲カルト云フヤウナ噂モアリマスカラ、此ノ點ハ、或ハ多少考慮スベキ點ガアリマセウガ、併シ是等ノ人モ相當ノ待遇ヲスレバサウ云フ非難ヲ受クルコトハナイノデヤナイカト云フ風ニ考ヘマスガ、私ハ特ニ此ノ點ハ一ツ政府ノ方デ十分御考ヘヲ願ヒタイト思フノデアリマス、官吏諸君ガ立派ニ國民ニ臨ムト云フコトハ、統制經濟ト云フモノヲ明瞭ニスル所以デアリマス、併シ斯ウ云フ方面ニ對スル模範ヲ示スカラト云ツテ、無理ヤリニ貯蓄ヲシロト云フヤウナコトハドウ云フモノカト一寸心配スルノデアリマスカラ、其ノ點ヲ一ツ御伺ヒ致シタイノデアリマス

○谷口政府委員 官公吏ノ待遇ノ問題ニ付テハ、御心配ヲ戴イテ居リマシテ、是ハ根本的ノ解決ヲスルト云フ所ニドウシテモ行カナケレバオシマヒニナラヌト思フノデアリマスガ、今日ノ場合ニ於キマシテ、ドウモサウ云フコトヲ實行スルダケノコトハ中難カシイノデアリマス、偶、其ノ機運ニ向ヒマシテモ、丁度中小企業ノ整理ノ狀態ト云フモノガ已ムヲ得ザルトニナツテ居ル、一方ニ於テ企業ガ整理サレテ、祖先傳來ノ

仕事ニ離レナケレバナラナイト云フヤウナ部分ガアル、ソレト同時ニ官公吏ノ者共ハ全部一齊ニ樂ニナルト云フコトノ實行ハ到底之ヲ斷行スルコトガ出來ナイノデアリマス、又國費モ相當嵩シデ居ル際デアリマスカラ、出來ルダケ辛抱ヲ致サナケレバナラス、本年ニ於キマシテハ、根本的デハアリマセヌケレドモ繼ギ接ぎ的デアリマスカレドモ、一應ノ處理ヲ片付ケタト云フ形ニナツテ居ルノデアリマス、併シ之ヲ國民全體ノ給料ニ依ツテ衣食シテ居ル階層ト申シマスガ、サウ云フモノト比ベテ官公吏ノ暮シガソレヨリモ一層樂ニナツタト云フコトハ申セナイト思フノデアリマシテ、比較的ニ申シマスレバ、依然トシテ苦シイ狀態ヲ續ケテ居ルト思フノデアリマス、其ノ苦シサニモ程度ハアルノデアリマシテ、殊ニ低イ俸給ヲ戴イテ居リマスル者ニ付キマシテハ十分デナク、健康ノ保持、子弟ノ教育等ヲ考ヘマス、十分ナコトガ迎モ出來ナイヤウナ狀況ニアルノデアリマス、ドウモ、此ノ問題ガ解決出來ナイト公正ナル官吏ノ行動ヲ期待スルコトガ出來ナイト云フヤウナ御議論モアルノデアリマス、色々ナ事情カラシテ十分ナ狀況ニ至ラナイノデアリマス、併シ暮シノ致シ方、或ハ心ノ持チ方ト云フモノハ比較的ナ問題デアアルノデアリマシテ、サウ云フ十分デナイ狀態デアリマスルケレドモ、又個々ノ場合ヲ考ヘマスレバ、工夫ノ仕方ニ依リマシテハ、尙ホ節約ノ餘地ガアリ得ルト云フコトモアルノデアリマシテ、今日ノ場合ニ於キマシテハ、殊ニ又本年ハ部分的ナガラモ解決ノ濟ンダコトニ一應ナツテ居ルノデアリマスカラ、此ノ際ト致シマシテハ、出來ルダケノ節約ノ方法ヲ工夫シテ、ヤハリ貯蓄

ニ努力スベキモノデアルト云フコトヲ、全體トシテハ考ヘテ居ルノデアリマス、率先垂範ト云フヤウナ文句モ行ハレテ居リマスガ、併シ又サウ云フコトヲ申シマスノモ烏滯ガマシイトモ思フノデアリマスルガ、國家ニ職ヲ奉ジテ居リマス以上ハ、當然ノ務メト致シマシテ、先ヅ十分デハナイニ致シマシテモ、出來ルダケノ貯蓄ヲ致スベキモノデアルト云フコトヲ考ヘテ居ルノデアリマス、サウ云フ考ヘカラ致シマシテ、各官廳ニ於キマシテモ貯蓄組合ト云フモノヲ整備致シマシテ、サウシテ色々ノ率ニ依リマシテ出來ルダケノ貯蓄ヲシテ居ル、併シ又是ハ個々ノ生活狀態ニ依リマシテハソレガ非常ニ無理ニナツテ迎モソレガ出來ナイト云フコトモ、是ハ實際問題トシテハアルノデアリマシテ、只今小山サンカラ御斟酌ノ御言葉ヲ戴イタノデアリマスルガ、サウ云フ斟酌ヲ必要トスル向キノニ對シマシテハ、一般ノ標準ニ依ラズ、當該ノ部局ヲ持ツテ居ル上長ノ者ガソレヲ能ク見マシテ、實際困難ヤウナ場合ニハ斟酌ヲスルト云フ工夫ハ致シテ居ルノデアリマス、併シナガラ總ジテ申シマスレバ、ヤハリ十分デナイ中ニモ出來ルダケノ貯蓄ヲ致スベキモノデアルト云フコトヲ方針ト致シマシテ、お互ヒニ勵ミ合ツテ、貯蓄ニ努力致シテ居ルノガ大體ノ現狀デアリマス

○小山(倉)委員 私ノ質問ヲ極度ニ壓縮致シマシテ、是ハ御答辯ヲ願ツテモ願ハナクテモ宜シウゴザイマス、唯二點ダケ申上ゲマス、一ツハドウシテモ斯ウ云フ風ナ時代ニナツテカラ日本ノ或ル一部ノ風習ヲ變ヘル爲ニ科學的生活設計ノ方法ト云フヤウナコトハ考ヘル必要ハナイカ、ソコデ生活様式ヲドウ云フ風ニ決メルカト云フコトニ付テ科學的ニ其ノ設計ヲ目論ム、其ノ點ニ付テ大藏省ハ——是ハ何處ノ省デヤルカ分リマセヌケレドモ、其ノ問題ニ付テ大イニ豫算ヲ御取リニナルト云フコトヲ御考ヘ願ヒタイ

モウ一ツハ私ハ此ノ點ハ大藏大臣ニ御尋ネシ、今次官ガ御見エニナリマスカラ次官ノ御意見モ伺ヒタイと思ツタノデアリマスガ、要スルニ貯蓄ノ由ツテ來ル所ハ國民貯蓄デアリマス、國民貯蓄ノ由ツテ來ル所ハ國民ノ生産、國家ノ生産デアリマス、所ガ最近ニ於テハ産業ノ再編成ト云フコトカラ非常ナ變化ヲ來シテ居ルノデアリマス、重點主義ニ國家資金ヲ集中シヨウトシテ、其ノ反面ニ於テハ其ノ重點カラ除外サレルソレ等ノ方面ニ私ハ相當ノ影響ガアルデアラウト思フノデアリマス、政府トシテハ高所カラ大體ノ計畫ヲ御立テニナルノデアリマセウガ、先程モ大藏大臣トノ質問應答ノアリマシタ當時、私一寸申上ゲタノデアリマスガ、要スルニ統計ヲ基礎トスル其ノ統計ト云フモノハ或ル程度マデハ事實ト合ハナイ、時間的ニ數字ガ合ハスト云フコト、其ノ實情ヲ察知スルダケノ期間ガナイト云フコトカラ、此ノ統計ヲ本トスル、其ノ統計ヲ本トシテ計畫サレル其ノ計畫ニ、齟齬ヲ來スコトハ非常ニ多イノデアリマシテ、民間カラ見ルト行過ギダト云フ方面ハ相當アルノデアリマス、デアリマスカラ重點産業カラ除外サレタ、重點の勞務カラ除外サレタト云フ其ノ方面ニ付テハ特別ニ施策ヲ行ツテ、サウシテ國民所得ノ源泉ヲ涵養スルヤウニ、統制經濟、計畫經濟ト云フモノヲ仕向ケナケレバナラスト思フノデアリマシテ、私ハ此處ニ二三ノ實例ヲ持ツテ居リマスガ、其ノ

實例ヲ細カニ申述ブル時間ガナイコトヲ遺憾ト致シマス、計畫經濟、統制經濟ニ當リマシテ、兎ニ角今日ハ住宅ヲ持ツコトモ出來ナケレバ、物ノ買溜モ出來ナケレバ、貯蓄ハ強行サレルシ、ソレカラ貯蓄債券等政府ノ要求ニ從ツテ之ニ應ジナケレバナラス、税金ハ取ラレル、其ノ上ニ寄附金ガ多イ、何處ニ貯蓄ノ餘地ガアルカ、今日若シ貯蓄ノ餘地ガ多少デモアルト云フノハ、要スルニ過去ノ蓄積デアリマス、併シナガラ今日ノ統制經濟ト云フモノデハ、是カラ果シテ蓄積ト云フモノハドウノ方面カラ得ラレルカ、ドウ云フ形デ、金ノ形、物ノ形カラ得ラレルカト云ヘバ其ノ點ハ中々困難ナ問題デアリマス、併シ長期戰ヲ覺悟スル上ニ於テハ、私共ハサウ云フ方面ニモ此ノ施策ヲ向ケテ行カレバナラス、サウシテ國民ノ力ヲ養ヒナガラ此ノ長期戰ニ對抗シナケレバナラスノデアリマスカラ、サウ云フ御考ヘモ一ツ願ヒタイ、私ハ具體的ニ此處デ申上ゲル時間ガアリマセヌカラ、大體私ノサウ云フ考ヘダケヲ申上ゲテ、若シ之ニ對シテ御所見ガアリマスルナラ伺ヒマスルシ、又時間ガナケレバ次ノ機會ニ於テ伺ツテモ宜シウゴザイマス

○由谷委員長 小山君、一寸御相談デスガ、本委員會ハ本會議ノ様子ヲ見テ續行シヨウト思ヒマスカラ、此ノ際ハ一應アナタノ意見ノ開陳ニ止メテ置イテ、政府カラ御答辯ガアレバソレハ午後ニ願ヒタイと思ヒマス、時刻モ十二時ヲ過ギマシタカラ、此ノ程度デ休憩致シマシテ、二時カラ開會致シマス

午後零時二十分休憩

午後二時二十九分開議

○由谷委員長 午前ニ引續キ會議ヲ開キマス——小山倉之助君

○小山(倉)委員 私ハ尙ホ大藏當局ニ御伺ヒ致シタイと思ヒマスガ、國民ノ消費額トシテ百三十億圓ヲ割當デアリマスガ、昨年ヨリハ二十億圓減額シテ居ラレルノデアリマス、昨年ト比較致シマシテ、物價騰貴モ著シイノデアリマスカラ、金額ハ二十億圓デアリマシテモ、是ハ物資ノ方面カラ見マスルト、私ハ更ニ甚ダシイ消費規定ガ行ハレナケレバナラスト思フノデアリマスガ、併シ先程大藏大臣ノ言ハレマシタル通り、斯様ハ決メテ居ツテモ中々其ノ通りニ行カヌ、大體ハ腰ダメダ、斯ウ云フ御意見デアレバ是ハモウ致シ方ナイノデアリマスケレドモ、二十億圓ノ金額ノ減額ニ止マラナイデ、物資ノ方面カラ云ヘバ、ソレダケ國民ノ生活ハ壓迫ヲ受ケル結果ニナルト思フノデアリマスガ、政府ハ如何ニ御考ヘニナリマスカ

○氏家政府委員 御話ノヤウニ昭和十七年度ノ國民生活資金トシテハ百五十億圓程度ヲ見込シテ居リマス、昭和十八年度ニ於キマシテハ百三十億圓程度ト云フコトニナツテ居ルノデアリマシテ、相當ノ消費節約ヲシナケレバナラスト云フコトニナルノデアリマス、併シ其ノ生活資金ノ中ニハハ先程モ御話ガアリマシタヤウニ、消費稅ノ部分ハ稅ノ方ニ計算致シテ居ルノデアリマスカラ、普通ノ生活費ト云フモノヲ見出ダス場合ニ於テハ、之ヲ戻シテ其ノ百三十億圓ニ加ヘナケレバナラスノデアリマス、ソレガ四十億圓程度アルト云フコトニナレバ、ソレデ百七十億圓ト云フコトニナル譯デアリマス、ソレカラ又同ジ一億ノ國民ト申シマ

シテモ、朝鮮、臺灣アタリノ人、或ハ農村ニ群シテ居ル人達ハ、相當低イ生活費デ間ニ合ハシテ居ラレノデアリマスカラ、東京ノ眞中ニ住ンデ居ル人モ百三十億圓、或ハ只今中シマシタヤウナ意味合デ、百七十億ナラ百七十億圓ヲ一億デ割ツタ其ノ額デ幕サナケレバナラヌト云フコトニハナラナイノデアリマス、普通ノ生活費ノコトヲ考ヘテ見マシテモ、例ヘバ能ク世俗ニ東京デハ子供三人ヲ持つテ夫婦二人ト云フコトニナレバ、ドウシテモ月ニ百圓ハ掛カル、斯ウ云フコトヲ能ク言フノデアリマス、併シ其ノ時ノ百圓ト云フ中ニハ、例ヘバ所得稅デアルトカ、營業稅デアルトカ、サウ云フ税金モ含メテ居リマスシ、又日常生活ニ使フ品物ニ課カル消費稅ナドモ含メテ居ルノデアリマス、場合ニ依ツテハ保險料モ此ノ位掛ケナケレバナラヌ、月掛貯金モ此ノ位ヤラナケレバナラヌ、サウ云フモノモ含メテソシテ月ニ百圓ナケレバナラヌ、斯ウ云フ風ナコトヲ言フ場合ガ非常ニ多イノデアリマス、サウ云フモノヲ除イテ見マス、本當ノ生活ノ爲ノ資金、詰リ大藏大臣ガ先般來申上ゲテ居リマス百三十億圓ニ對應スル各個人ノ生活資金ト云フモノハ、案外見タヨリハ低イモノデアル、斯ウ云フコトモ言ヒ得ルノデアリマス、隨ヒマシテ先般來申上ゲテ居リマス此ノ資金ト云フモノハ、サウ減茶々々ニ低イモノダト云フヤウナ風ニハ私共考ヘラレナイノデアリマス、併シ百五十億圓カラ百三十億圓ニナリマシテ餘裕ノ餘リナイ所ヲ、又更ニ二十億圓ダケ消費ヲ節約シナケレバナラヌト云フコトハ、是ハ相當ノ努力ヲ必要トスルハ思フノデアリマスアレドモ、何カ此ノ數字ガ餘リニ

モ一般ノ常識ニ反スルカノヤウニ考ヘテ居ラルル向キモアルノデアリマスガ、能ク考ヘテ見マスト云フト、サウ途方モナイ數字デアルト云フ風ナコトニハナラナイモノデアルト、私共考ヘテ居ル次第デアリマス

○小山(倉)委員 只今私ノ御質問申上ゲタ以上ノコトヲ御答ヘ願ヒマシテ、却テ茲ニ私ハ疑問ガ起ツタノデアリマスガ、只今當局ハ實際ノ生活費ハ割合ニ低イノダ、斯ウ云フヤウナ御見込ノヤウデアリマスガ、私ハ實ハ反對ニ考ヘテ居ルノデ、此ノ所得五百億ト云フモノヲ目標トシテ斯ウ云フ國民生活ノ費用ヲ百三十億ニ見タノデスガ、實際ハ五百億ト云フ所得ヲ遙カニ突破シテ居ルノデヤナイカ、ソレカラ又實際ハ各個人ノ收入ハ、税金ノ目標トナリナイヤウナ色シナ形デモツト多イノデハナイカ、ソレガ詰リ借金ノ形ニセヨ、或ハ報酬ノ形ニセヨ、或ハ一時所得ノ形ニセヨ、サウ云フ費用ガ多イノデヤナイカ、斯ウ云フ風ニモ私ハ見ラレノデアリマスガ、併シ國民所得ガ多イト云ヘバ、税金ノ取り方ガ足ラナイ、モツト取ラナケレバナラヌ、斯ウ云フ問題ニナルト却テ國民生活ノ混亂ヲ來シマスガ、大體此ノ五百億ト云フ目標ガ小サイデヤナイカ、國民生活ト云フモノハ、割合ニ食ツテ行ケルト云フコトニ付テハモツト餘裕ガアルデヤナイカ、勿論ナイ方面モアリマシガ、大體ニ於テアルノデハナイカ、斯ウ云フ風ニモ私ハ考ヘルノデアリマシテ、詰リ此ノ五百億ト云フモノハ大體ニ於ケル目標ニ過ギナイノデ正確ナモノデハナイノダ、統計ノ機關モサウ備ハツテ居ナケレバ、技術家モアル譯デハナイ、大體ノ目安ダト云フ先程ノ大藏大臣ノ御説デアリマスガ、モツ

ト是ハ國民ノ力ガ一部ニ於テハアルノデヤナイカ、生活ダケハ何トカ出來ルデヤナイカト云フ考ヘモアリマスガ、併シ一部ニ於テハ中々困難シテ居ル場合モアル、サウ云フ風ニ私共考ヘテ居ルノデアリマスガ、之ニ對スル御所見ハアトデ御伺ヒ致シマス

然ラバ此ノ二十億圓ト云フモノヲ軍需生産費、或ハ戰爭資材生産ノ方面ニ向ケルト云フコトニシテ國民生活ヲ壓迫スル、然ラバ其ノ國民生活ノ制約ヲスル施策ハ一體ドウナサルカ、實際運動トシテハドウナサルカ、國民ノ自主的方針ニ俟ツノカ、或ハ其ノ方法ヲ特別ニ講ゼラレルノカ、而シテ其ノ二十億圓ト云フ金ヲ軍需資材生産ノ方ニ向ケルガ、其ノ裏付ケラレル所ノ資材ハドウナ方而カラ得ラルルカ、所謂民需ヲソレダケ壓迫シテ民需ヲ其ノ方ニ向ケルノカ、ドウ云フ御方針デ居ラレルカ、其ノ點ヲ伺ヒタ

○氏家政府委員 國民ノ生活資金ヲ、十八年度ニ於テ十七年度ヨリモ壓縮スルト云フコトニナリマス、其ノ一部分ハ稅ノ方ニ向クモノモアルダラウト思フノデアリマス、貯蓄ノ方ニ向クモノモアルト云フコトニナルノデアリマス、ドウシテ消費資金節約ノ方法ヲ實行スルカト云フ御尋ネデアリマシガ、是ハ國民ノ自覺ニ俟ツト云フ方法モアリマスシ、又適當ナ戰時生活ノ指導ヲヤルト云フ方法モアルノデアリマス、十八年度ニ於ケル貯蓄増強ノ一ツノ大キナ眼目ハ、此ノ戰時生活ノ實踐ト云フ所ニアルト考ヘマシテ、私共ノ方デモ色々案練ツテ居リマスガ、大政翼賛會アタリデモ相當ニ考ヘテ居ル所ガアルヤウデゴザイマス、サウ云フコトニナリマスレバ、從來生活方面ニ使ハレテ

居リマシタ所ノ資材ガ生活方面ニ要ラナクナル、隨テ是ハ軍需生産ノ方ニ自然ニ振向イテ行ク、又計畫上モソレヲ振向ケルヤウナ色々ナ計畫ヲ立テラレト云フコトニ相成ルト思フノデアリマス

○小山(倉)委員 大體ハ自主的ニ求メル、アトハ勸誘其ノ他ノ方面デヤルト云フ御考ヘデスナ、又精神運動デヤルト云フコトデアリマスガ、只今ノ民需ノ生活ノ方ヲ切詰メテソレダケ節約スレバ、ドウ云フ方面ノ資材ガ軍需資材ノ方ニ向ケラレルノデアリマス、目標ノ實例デモオアリニナルナラバ、御伺シタイノデスガ

○氏家政府委員 ソレハ色々アルト思ヒマス、例ヘバ石炭ノ使ヒ方カラ考ヘテモ、直ガ分ルコトダト思フノデアリマス、各家々デ石炭ヲ使ツテ居ルガ、其ノ焚キ方ヲ加減スルコトニ依ツテ一割減ラセバ、是ハ全國カラ見マシテ、大變ナ石炭ノ節約ニナルト思フノデアリマス、又風呂ノ回数ヲ減ラス、或ハ自宅デ風呂ヲ立テラレト止メテ、錢湯ニスルト云フヤウナコトニ依ツテモ、相當ナモノニナルト思フノデアリマス、又吾々ノ生活上、味噌トカ醬油ト云フヤウナモノモ、是モ隨分無駄ニ使ツテ居ル部分ガアルノデアリマス、鹽モ同じコトデアリマス、之ヲ節約シマス、ソレヲ取ツタ所ノ豆デアリマスレバ、油ヲ取ル、是ハ又色々軍需用品ニ使フコトガ出來ルト云フヤウナコトニナルト思フノデアリマス、其ノ他色々ナコトヲ考ヘテ見マス、モウ私カラ一々例ヲ申上ゲナクトモ、サウ云フコトガ到ル所ニアルト云フコトガ、申上ゲラレト思フノデアリマス

○小山(倉)委員 御答辯デ大體何處ヲ目標ニシテ居ルカト云フコトガ分リマシタ、今

日ハサウ云フ方面ノ層モアリマセウ、所ガ味喰ノ配給モ洵ニ少クテ、朝、味喰汁一杯モ吸ヘナイデ、オジヤヲシテ食ベテ居ルト云フ層モアルコトヲ御承知ヲ願ヒタイ、ソレカラ石炭モナクテ、風呂ヘ入レナイト云フ層ガアル、サウシテ共同風呂ヘ参リマスガ、其處ヘ行ツテ丹毒ニ罹ツタリ、病氣ニ罹ツタリ、色々ナコトヲ困難シテ居ル層モアルコトヲ御承知願ヒタイ、例ヘバ私自身ノ身體デ申シマス、上ノ方ハ一寸小綺麗ナ洋服ヲ着テ居リマスガ、中ノ方ハ「ボタシ」モ満足ニ付イテ居リマセウ、又下着デモ何デモ接ギシテ、其ノ接ギ糸スル絲モナケレバ、之ニ要スル色々ナ資材ガナイノデアリマシテ、私共ノヤウナ多少洋服ヲ持ツテ居ル者デサヘモ、サウデアリマスカラ、サウ云フ一般ノ狀態カラ言ヒマシタナラバ、是ハ實ニ慘澹タル方面ガアルト、私ハ想像スルノデアリマス、私ハ過般モ、議會ニ於キマシテハ、随分所謂大所高所カラ立派ナ議論ヲ吐カレル方ガ多イケレドモ、此ノ配給ト云フ問題ニ付テ、餘リ質疑應答ガナカツタト云フコトカラ、私自ラ志願ヲシテ、配給ノ問題ヲ政府當局ト質問應答ヲ致シマシタガ、私ノ質問シタコトヲ大體御認メニナリマシタ、御認メニナツタト云フコトハ、詰リ餘程ノ酷イ生活ヲシテ居ル部分ガアルト云フコトヲ、御認メニナツタノデアリマス、勿論今ソレヲ申シタカラト云フテ、私ハ大藏當局ノ貯蓄目標ヲ敢行シヨウ、遂行シヨウト云フコトニ對シテ、異議ヲ挿ム者デハナイノデアリマス、先程申上ゲマシタ通り、貯蓄ノ源泉ハ所得デアリ、所得ノ源泉ハ生産ニアル、其ノ生産ノ本ヲ涵養シテ行カナケレバ、國民ノ資力ト云フモノハ涸渇スルノデ

アリマスカラ、茲ニ又貯蓄スル餘力モナクナル處ガアルノデアリマシテ、政府ノ施策或ハ政策ハサウ云フ方面ノ者ヲ引摺ツテ行カナケレバナラヌト云フコトヲ、先程簡單ニ申述ベタノデアリマスガ、私茲ニ一ツノ例ヲ申述ベタイト思フ、先程申上ゲマシタ通り、住宅ノ點カラ言ツテモ、衣料ノ點カラ言ツテモ、金錢ノ點カラ言ツテモ、總テノ點カラ、計畫經濟ニナツタカラ、モウ物ノ方面ニ於テモ、金ノ方面ニ於テモ、貯蓄ヲスルト云フ餘地ハアリマセウ、併シ是ハ戰時財政經濟デアリマスカラ、已ムヲ得マセウ、併シ過去ニ於テ相當ノ貯蓄ノ蓄積ガ出來タト云フコトハ、一體ドウ云フ政策ニ依ツタノカ、此ノ數年來又貯蓄ガ殖エテ來タ、物資ト或ハ金トノ兩方面カラ殖エタト云フコトハ、ドウ云フ組織ガアツタカト云フコトヲ思ヒ合セナケレバナラヌノデアリマス、私共ハ此ノ戰爭ニ勝利拔ク爲ニハ、政府ノ政策ニ對シテハ滿幅ノ協力ヲ致シ、滿幅ノ誠意ヲ披瀝シテ國家ノ方針ニ從フノデアリマス、併シ其ノ間ニモ中々間違ツタコトガアル、其ノヤリ方ノ間違ツタ點ガアルカラ、サウ云フコトニ付テ是正シテ貰ヒタイト云フ點ヲ一ツ二ツ申述ベタイ、ソレハ今日、藥ノ製品、是ハ大藏當局トシテハ、御關係ノナイコトデアリカモ分リマセウガ、藥ト云フモノガ、日本ニ於テ藥工品トシテハ恐ラクハ一割位シカ使ツテ居ナイデセウ、所ガ是ガ統制サレマシテカラト云フモノハ、繩ヲ使フコトモ困難デアレバ、以困難デアアル、軍需資材ヲ入レル以テ得ルコトモ困難デアリ、繩ヲ得ルコトモ困難デアルト云フコトカラ、生産ノ上ニモ、運輸ノ上ニモ、非常ニ困難ヲシテ居ル實情ガアル、ダカラ此ノ統制ト云フモノヲ或ル

程度緩和シテ、農村ニ於ケル家族勞働ト云フモノヲ利用スレバ、或ル程度マデ増産ガ出來ル、ソレガ民間ノ需要ヲ充タスコトガ出來ルノミナラズ、軍需資材トシテモ或ル程度ノモノハ充タスコトハ出來ルノデアリマスガ、斯様ナモノハ全部封鎖サレシマツタ、農村ノ一戸當リノ收入ガ多クツタト云フデアリマセウ、併シナガラ農村ニ於テハ或ル一部ノ所謂閑却サレタ老人、老婦人、或ハ子供ト云フヤウナモノノ勞力ハ或ル程度マデハ封鎖サレテ居ル、ソレヲ活用シナイ、收入ガ殖エタト云フノハ蔬菜ノ栽培トカ或ハ出稼ギトカ或ハ軍需工場ニ於テ働クト云フ方面カラ得テ居ル「グロス・アマウシ」トシテハ農家ノ收入ガ殖エタト致シマシテモ、其ノ實質ニ於テハ遊休ノ勞働ト云フモノハ相當ニアル、此ノ遊休ノ勞働ノアルト云フノハ、ヤハリ此ノ統制方法ト云フモノノ運用ニ多少誤リガアル、ソコデ是正スルコトニ依ツテ各個人ノ所得ヲ増スコトガ出來ル、所得ヲ増スコトガ出來レバ又ソコニ貯蓄ノ餘地ガアル、モウ一ツノ例ヲ申上ゲレバ、最近足尾銅毒事件ニ於テ聞イタコトデアリマスルガ、芋ヲ六万貫カ七万貫腐ラシタ、是ハ何處デ發見サレタカト云フヘバ、ソレハ掃除人夫ガソレヲ運ブコトガ出來ナシテ、其處カラ漏レタト云フコトヲ伺ツテ居ル、是モヤハリ一元統制ノ其ノ間カラ生ズル問題デハナカラウカ、ソレダケノモノヲ腐ラサナラ、之ヲ國家ノ主食物ノ一部トシテ供給スレバ宜シイ、又ソレダケノモノヲ賣ラセレバ、ソレダケ農村ニ於ケル所得ガ増スト云フコトニナル、併シサウ云フコトハ工業部面ニモアル、農業部面ニモアル、此ノ戰爭經濟ト云フモノヲ遂行スル爲

ニハ、戰爭資材ノ生産ノ爲ニハソレモ勿論必要デアリマスルガ、國民生活ノ安定ヲ圖ル爲ノ最小限度ノ生産ト云フモノモ必要デアアル、戰爭經濟ト云フモノハ一方ニ於テハ戰爭物資ノ生産、一方ニ於テハ國民生活ノ最小限度ノ生産ヲ保障スルト云フコト、兩々相俟ツテ行カナケレバナラヌノデアリマスガ、今度ハ産業再編成デ以テ超重點主義トナリ、相當ノ工場、相當ノ産業ニ對シテ整理ヲヤル、其ノ場合ニ國民ノ殆ド大部分ハ戰爭資材ノ生産ノ爲ニ向ケルト云フ方針ヲ成ベク各層ノ戰爭資材ノ方ニ向ケテ行クト云フ準備ガナケレバナラヌノデアリマスガ、其ノ準備ガナイ爲ニ、向ケルト云フ方針ダケ立テ實際向ケラレナイモノガアル、方針ヲ立テテモ實際ハ向ケラレナイ、向ケラレナイ間ト云フモノハ、ソコニ所謂勞力ノ點カラ云ツテモ、智能ノ點カラ云ツテモ、國家ノ生産力ノ源泉ニナル所ノモノガ一時遊休ニナルト云フコトガ起ルノデアリマスカラ、成ベク其ノ方面ニハ周到ナル計畫ヲナシ、成ベク國民ノ所得ヲ殖ヤサユウニ、國民ノ勞力ヲ考ヘ、或ル程度ノ資材ヲ配分シテヤツテ行カナケレバ、長期ノ戰爭ニ堪ヘルコトモ出來ナイシ、第一國民貯蓄ノ源泉タル其ノ所得ヲ増加スルコトニモナラナイノデアリマスカラ、是ハ國務大臣タル大藏大臣トシテ、財政經濟ノ根幹ヲ握ツテ居ル大臣ガ各種ノ施設ニ對シテ斯様ナ見解ヲ持ツテ、或ハ閣議ニ於テ御指導或ハ其ノ主張ヲ貫徹セラレンコトヲ希望スル意味合ニ於テ私ハ申述ベタイノデアリマスガ、サウ云フコトニハ十分御注意ヲ願ヒタイト思フノデアリマス、私ノ意見ハ餘リ急ギマシタコトト、午前ヨリサウ云フ方面ニ簡單ニ觸

レマシタノデ、此處ニハ意ヲ盡サナイ點ガアリマスケレドモ、極ク簡略ニ意見ヲ述ベテ御所見ヲ伺フ次第デアリマス、私ノ質問ハ是デ終リマス

○谷口政府委員 只今段々ノ御話洵ニ傾聴致シタノデアリマス、大藏大臣ニ於キマシテモ他ノ機會ニ於テ御話ヲ承ツタカトモ思ヒマスガ、御指示ノ點ニ付キマシテハ十分能ク報告ヲ致シマシテ、閣議其ノ他ノ席ニ於テ御指示ノ如キ方向ニ取計ラヒノ出來ルヤウニ致シタイト思フノデアリマス

只今ノ點ニ付テ、只今吾々ノ關係シテ居リマスル部面カラ拜承致シマシタ要點ト致シマシテハ、遊休労働ニ對シテノ處置、貯蓄ノ源泉トシテノ遊休労働ヲ考ヘロト云フ點デアリマシテ、吾々關係當局トシテモ重要ナル題目トシテ掲ゲテ居ル所ニ正ニ適合致スノデアリマス、例トシテ御引キナリマシタ農林ニ於ケル問題、農工品等ニ付キマシテハ、吾々モ事變當初ニ於テハ、農工品ノ生産ノ助長ノ爲ニ農工品ノ製作機械ノ購入助成ト云フヤウナコトヲ致シタコトヲ記憶シテ居リマスガ、今日農其ノモノノ配給ノ統制サレタ結果ト致シマシテ、其ノ動キ工合ガ段々自由ヲ缺クコトニナリ、ソレガ爲ニ農村ノ或ル部面ニ遊休勞力ヲ生ジテ居ル、成程サウ云フコトモ御實見ノヤウニアリカト思ヒマス、又工業部面ニ於キマシテモ、昨今色々企業ノ統制ト云フコトガ行ハレ、其ノ統制ノ繼目々々ニ於キマシテハ、勞力ノ遊休セル狀態ヲ現出シテ居ルモノモ或ハアルカト思フノデアリマス、是等ニ對シ資材其ノ他ノ配意ヲ致スコトニ依リマシテ、其ノ遊休労働ヲ活用シ、國民貯蓄ノ源泉ヲ培養スルト云フコトニモ

一段ト工夫ヲスル餘地モアルト考ヘルノデアリマス、事變以來、只今御話ノ中ニモアリマシタ如ク、全體ノ經濟ヲ軍需ノ方面ニ強ク傾ケルト云フ大體ノ方向ヲ執ツテ居リマシテ、其ノ目標ノ下ニ各種ノ統制的ナ施設ガ行ハレテ參ツタノデアリマス、此ノ施設ハ關係當局モ十分努力ハ致シテ居ル積リデアリマスガ、尙ホ御指摘ノ如キ改善スベキ點、從來諸種ノ缺陷、無用ノ不便ヲ醸シ出シタ點モ亦ナイトハ申セナイト思フノデアリマス、吾々ト致シマシテハ、財務當局

トシテ御指摘ノヤウナ點ニ付テハ今後尙ホ一層戒心ヲ加ヘタイト思フノデアリマス、尙ホ又御話ノ初メニ於テ、色々國民生活ノ現狀ニ付テ不自由ナ狀況ニアル點モ御指摘ニナツタノデアリマスガ、吾々各種ノ施設ヲ致シマス際ニハ、サウ云フ場合ノアルト云フコトヲ念頭ニ置ク必要ノアルコトハ御指摘ノ通りデアリマス、サウ云フ場面ガアリマシテ、今日ノ場合一層ノ貯蓄ヲスルト云フコトガ中々困難ナル方面モアルカト思フノデアリマス、隨ヒマシテ多少餘裕ノアル方面ニ於キマシテハ尙ホ一段ト貯蓄ノ御盡力ヲ願ハナケレバナラヌ場面モアルカト思フノデアリマス、要シマスルニ國民貯蓄ヲ中心トシテ考ヘマシテ、今後一層ノ貯蓄增強ニ努力致サナケレバナリマセヌ狀況ニアリマスノデ、此ノ方面ノ努力ヲ致シマスルト共ニ、御指摘ノ如キ國民生活乃至國民經濟ノ狀況ニ付キマシテハ、取纏メテ全體トシテ尙ホ改善シ缺陷ノナイヤウニスルト云フコトニ付キマシテ、萬全ノ努力ヲ拂ヒタイ、斯様ニ考ヘル次第デアリマス

○由谷委員長 此ノ場合、午前ノ委員會ニ於ケル西尾君ノ質問ニ對シテ政府ノ御答辯ヲ

求メタイト思ヒマス——田中政府委員

○田中豐政府委員 徵用令ニ依リマシテ會社ノ重役デアルトカ或ハ社員等ガ其ノ儘其處ノ徵用者トシテ徵用サレ、從來ノヤウナ仕事ニ從事シテ居ル場合ニ於テ是等ニ對スル給與ハドウナルカ、斯ウ云フ御趣旨ノ御質問ト拜承致シタノデアリマスルガ、其ノ場合ニ於キマシテハ徵用令ニ依リマシテ、就業條件其ノ他給與ニ付キマシテ厚生大臣カラ命令ヲ出シ、條件ヲ定メルコトハ法制上可能ナノデアリマス、併シナガラサウ

云フ風ニヤリマシテモ、ヤハリ企業ノ會社ノ重役トシテ或ハ社員トシテ働イテ居ルノデアリマス、從來ト色々ナ條件ニ差違ガナク、又一般的ニサウナラナイ他ノ企業會社等ノ權衡ノ問題モアリマスノデ、サウ云ツタ場合ニ於キマシテモ、一般會社經理統制令ノ適用ヲ受ケル、實際問題ト致シマシテ會社經理統制令ノ規定ニ依ツテヤツテ行ク、斯ウ云フ風ニ相成ラウト存ズルノデアリマス、隨ヒマシテサウ云フ社員重役等ニ付キマシテハ給與ハ從來ト變ラナイ、斯ウ云フコトニ相成ツテ居ルノデアリマス

○西尾委員 私人質問シタ趣旨ニ對シテハ明確ナ御答辯デアリマシテ、ソレハ分ツタノデアリマスガ、此ノ機會ニ私ハ、大臣ガ居ラレマセヌケレドモ大藏次官ニ一ツ御願ヒ致シテ置キタイノデアリマスガ、例ヘバ今度徵用工ヲ使フ場合ニハ、徵用セザル職工ハ同ジヤウニシテハ國家性ガ明カデナイ、隨テ能率ガ上ラナイト云フ意味ニ於テ、徵用工ヲ使フ工場デハ、非常徵用者トハ同一作業場デハ働カセナイト云フ趣旨ヲ更ニ擴大致シマシテ、會社責任者モ共ニ徵用スル、サウスルコトニ依ツテ國家性ヲ明確化シ、ソ

レニ依ツテ徵用者モ吾々コソ白襪ヲ掛ケテ來タノダ、國家ノ生産增強ノ爲ニ一切ヲ捨テ出征軍人ト同様ナ心持デ來タノダト云フ、ソコニ國家性ヲ明確化致シマシテ能率ヲ上ゲサセヨウト云フ所ニ勤勞緊急對策ノ狙ヒ所ガアル、斯ウ云フコトニナツテ居ルノデアリマスガ、併シ實際ニ見マスルト、例ヘバ同ジ徵用ト云フ形ヲ取リマシテモ會社ノ責任者或ハ重役ト云フモノハ、是ハ何モ徵用シナクタクツテ外ノ會社ニ轉勤スルト云フ譯ハナイ、ソレヲ形式ノ上ダケハ同ジヤウニ徵用ニスル、所ガ一般勞務者ハ、例ヘバ九州ニ居ル勞務者ヲ其ノ技術ノ都合ニ依リマシテハ、北海道ニ連レテ行ツテ之ヲ徵用工場ニ入レル、從來ノ慣レタ故郷、或ハ慣レタ仕事カラ離レテ、サウシテ遠イ所ニ行ク、給料ハ、是ハ極端ナ例デハアリマスルケレドモ、マア勤務局長ガ舉ゲラレタ例ヲ其ノ儘取リマスルト、五百圓從來取ツテ居リマシタ者デモ、ソレガ六十圓シカ給料ヲ拂ヘスト云フ著シキ前收トノ差ノアル場合ニハ、九十圓マデハ此ノ差額ヲ補償スル、斯ウ云フコトニナルノデアリマシテ、勿論其ノ他ニ家族手當等モアルノデアリマスルガ原則トシテハ九十圓マデシカ補償シナイト云フノデアリマスカラ、收入ノ上ニ於テモ非常ナ差ガアル、サウ云フヤウナ非常ナ犧牲ヲ一方ニハ拂ツテ來テ居ルノニモ拘ラズ一方徵用サレタト言ヒナガラ、會社ノ幹部級ノ者ハ從來ト同ジヤウナ場所ニ働キ、同ジヤウナ地位デ、同ジヤウナ收入ヲ得ルト云フコトデハソコニ事業全體ノ國家性ガ明確ニナラヌト思フ、詰リ國家性ノ明確化ヲ妨ゲテ居ルモノハ營利主義デアル、或ル者ハ儲ケテ居ル、或ル者ハ犧牲ヲ拂ツテ居ルト云

フコトデハイケナイト云フ所ニ國家性ヲ明確化スル今度ノ勤勞緊急對策方出來タノデアリマスルガ、伺ツテ見マスルト、チツトモナツテ居ナイ、形式ハ皆徵用ダト云フコトニナツテモ、實質ハ非常ニ違フ、是デハ國家性ハ明確ニナラス、甚ダ嫌ナ言葉デアリマスルガ、持タザル者ハ更ニ奪ハレルト云フ言葉ガアリマス、何ダカソナヤウナ氣ガスルノデアリマス、戰時中デアリマスルガ、國民ノ金ヲ持ツテ居ル者ハ金ヲ國ニ捧ゲ、力ヲ持ツテ居ル者ハ力ヲ國ニ捧ゲテ總力戰ヲ戰ヒ拔カウト云フノデアリマシテ、即チ乏シキヲ憂ヘズ均シカラザルヲ患フル皆不自由シナガラ戰ハウヂヤナイカト云フ所ニ本當ニ國民ノ所謂氣合ヒガ掛ルノデアリマス、サウ云フ意味ニ於キマシテ、私ハ今ノ御話ヲ聽キマシテ甚ダ遺憾ニ思フノデアリマシテ、是ハ決シテ所謂惡平等ノ意味ヲ分配ノ公平ヲ私ハ主張スル意味デハナイノデアリマス、即チ戰力ヲ增強スル爲ニハ生産ヲ增加シナクチャナラス、生産ヲ増加セシガ爲ニハ今日徵用工ヲ非常ニ多ク使フ工場ニ於テハ國家性ヲ明確ニシナクチャナラス、斯ウ云フ意味申上ゲテ居ルノデアリマシテ、即チ此ノ點ニ於テ國家性ノ明確化ト云フコトガ十分デナイト致シマスルナラバ、又徵用工ノ生産能率ヲ舉ゲルト云フ上ニ於テモ、是ハソレダケ十分デナイト云フ結果ニナツテ來ルノデアリマスカラ、是ハ別ナ機會ニ於キマシテ、私ハ更ニ厚生省ノ主トシテ主管ノ問題デアリマスルカラ、希望要スル積リデアリマスルガ、此ノ機會ニ於キマシテ會社經理統制令等ノ運用等ニ於キマシテハ、斯ウ云フコトモ出來ルヤウニ思フノデアリマスルカラ、大藏省ニ於キマシ

テモ、大藏大臣ガ國務大臣トシテノ立場カラ徵用工ヲ使フ工場ニ於ケル國家性ノ明確化ト云フコトニ付キマシテハ、一段ノ御工夫ヲ願ヒタイト云フコトヲ希望申上ゲテ置キマス

○谷口政府委員 徵用工ノ問題デアリマスルガ、今日國家ノ非常ノ場合ニ於キマシテ徵用制度ガ採ラレテ居ルノデアリマスルガ之ニ對スル給與ノ問題ニ付キマシテハ中々ノ苦心、非常ニ難カシイ所ガアルノデアリマス、只今御指摘ノヤウナ點ニ付キマシテモ問題ガアルノデアリマシテ、徵用サレタ者ト徵用サレズシテ居ル者ト同ジ場所ニ如何ナル給與デ以テソレガ圓滿ニ行クカト云フコトハ非常ニ難カシイ問題デアリマス、是ハ工業勞働方面ノミナラズ他ノ方面ニモ色々似タ問題ガアルノデアリマス、此ノ勤勞ヲ強化スルニ付キマシテハ此ノ間ノ調節ニ付キマシテハ十分ニ意ヲ用ヒル必要ガアルカト思フノデアリマシテ、吾々ノ會社經理關係乃至豫算其ノ他ノ關係ニ於キマシテモ、此ノ問題ニ付キマシテハ只今御指摘モアリマシタノデ、今後能ク注意ヲ致シマシテ、圓滿ナル解決、又徵用サレタル者ト徵用セラレザル者ガ同ジ所デ氣持好ク働キ得ルヤウナ狀況等ヲ現出致シマス爲ニ、十分努力ヲ致シタイト思フノデアリマス

○由谷委員長 木下義介君

○木下(義)委員 納稅施設法案デ、戰時納稅貯蓄ノ所ノ事務取扱者ニ日本銀行ヲ例示セラレテ居リマスガ、之ニ關聯シマシテ、私人的資源ノコトデ次官ニ御尋ネシタイト思フノデアリマス、ソレハ戰力ノ增強ト人的資源トガ緊密ナ關係ガアルコトハ申上ゲルマデモアリマセヌガ、私ノ調査シマシタ所ニ依

リマスルト、特殊銀行ノ日銀、勸銀ガ普通ノ行員デハ五十五歳ガ停年ニナツテ居リマス、ソレカラ興銀、正銀ガ六十歳、其ノ他ノ五大銀行ガ總テ五十五歳ガ停年トナツテ居リマス、平時ノ場合デアリマスレバ大體五十五歳見當ヲ停年トスルノガ一應ノ見當デハナイカト思ヒマスガ、今日ノ人的資源ノ關係カラ考ヘマスレバ、相當事務ニ習熟ヲ致シマシタル是等ノ行員ナドハ、引續イテ相當ノ期間働ケル者ハ其ノ經驗ヲ活カシテ人的資源ヲ伸バシテ行クト云フコトガ最も緊要ノコトト思フノデアリマス、相當廣イ範圍ニ此ノ問題ハ影響スルト思ヒマスガ、特ニ戰時中ノ人的資源ノ方カラ考ヘマシテ此ノ種ノ停年ニ對シテ如何様ニ大藏省トシテハ御考ヘニナツテ居ルカ、先ヅ之ヲ御尋ネシタイト思フノデアリマス

○谷口政府委員 五十五歳乃至六十歳ヲ停年ト致シテ居リマスルコトハ御話ノ通りデアリマス、今日銀行方面ニ於キマシテモウ人ハ十分デハゴザイマセヌ、一時ハ不要不急ノ仕事ト云フ風ナコトニモ見ラレタコトモアリマシテ、新シイ人員ノ割當ト云フモノガ十分デナカッタコトモアルノデアリマス、現在ニ於キマシテモ此ノ方面ガ國民貯蓄其ノ他ノ關係カラ必要ナル業務デアルト云フコトヲ關係當局ニ理解ヲ得ル爲ニハ、大袈裟デアリマスルケレドモ不斷ノ努力ヲ必要トスルヤウナ狀況デアリマス、是ガ十分デナイヤウナ狀況デアリマスルノデ、從來男子ヲ使ツテ居リマシタ部分ヲ女子日間ニ合ハセルト云フ方面モ若干出來テ居リマス、是ハ此ノ場合サウ云フ狀態デアラナラバ若イ者モ從來ヨリモズツト若イ者ヲ使フシ、又年取ツテモ働ケルヤウニ停年ヲ擴ゲル

ト云フコトハ、是ハ一應ノ御着想デアリマシテ、之ニ依ツテ人的資源ヲ相當殖ヤスト云フコトモ可能ナ場合モアルカト思フノデアリマス、併シナガラ是ハ特殊銀行ノ例デハアリマセヌガ、吾々ノ行政ノ方面ニ於キマシテモ、例ヘバ稅務行政ノ方面ニ於キマシテハ、從來ナラバ六十歳位ニナレバ一齊ニ後進ニ途ヲ讓ルト云フ恰好デアリマシタケレドモ、體ノ達者ナ者ハマダ置イテ居ルト云フヤウナコトモ實際アルノデアリマス、吾々部内ニハ停年制ハゴザイマセヌケレドモ、實情トシテハサウ云フコトモアルノデアリマシテ、此ノ場合上ヲ擴ゲルト云フコトモ一應ノ御着想ト思フノデアリマス、併シ其ノ停年問題ニナツテ居ル者ガ銀行業務若イ者ガ當リマスルヤウナ仕事ニ再ビ還ツテ其ノ仕事ニ當ルト云フコトモ、是ハ年齡ノ關係上直グニモサウ云フ譯ニハ行カナインデアリマス、今日減ツテ參リマス方面ニ相當年齡ノ若イ部分デ相當劇職デアアル、而モ日常ノ業務トシテ帳面ヲ付ケル、計算ヲスル、サウ云フ方面ノ人手ガ主トシテ非常ニ不足シテ參ルノデアリマスカラ、此ノ停年ヲ延バスコトニ依リマシテ、其ノ方面ニ停年間近イ人々ヲ再ビ使フト云フヤウナ融通性ニ付キマシテハ如何デアラウカト考ヘルノデアリマス、併シ今日ノ場合デアリマスカラ、私モ只今木下サシノ御着想ニ接シタバカリデアリマシテ、マダ十分ナル研究ハ遂ゲテ居リマセヌケレドモ、必ズシモ停年制ト云フコトニ膠着シナイデ、必要ナル融通ヲ付ケテ行クコトガ適切デアラウト思フノデアリマス、停年制ノ撤廢ト云フ所マデ御話ハナカッタト思ヒマスケレドモ、先刻申シマシタヤウニ、此ノ事業ノ要求シ

テ居ルヤウナ健康ト若サヲ持つ人達ノ補充ニ直ダナルカドウカト云フコトニ付キマシテハ、尙ホ研究シナケレバナラヌ點ガアルノデアリマス、併シ人手ノ足ラナイ時、ドノ手デモ借りタイト云フノガ大勢デアリマスカラ、只今ノヤウナ點ニ付キマシテモ多少ノ融通ヲ付ケルト云フヤウナ考ヘ方ハ適當デハナイカト、只今ノ御話ヲ承リマシテ大體左様ニ考ヘルデアリマス

○木下(義)委員 大體ノ御所見ハ拜承致シマシタガ、私ノ現實ニ聞イテ居リマス所ニ依リマス、停年ニナリマス十分其ノ擔當事務ニ従事スルコトガ出來ルニ拘ラス、一應辭表ヲ出サシテ置キマシテ、依然トシテ勤務サシテ居ルト云フ狀況ヲ屢見聞スルノデアリマス、サウ云フ場合ニ精神的ノ影響ト致シマシテハ、何時罷メサセラレカ分ラナイト云フヤウナ、所謂落付イタ意味ニ於テノ事務ヲ執ルコトガ出來ナイノガ自然ノ人情デアリマス、一般ノ觀念論トシテノ人的資源ノコトヲ屢論ゼラレテ居リマス、私ハ此ノ具體的ノ事柄ヲ擧ゲマシテ、大藏省御所管ノ方面ニ本日ハ限定致シマシテ、特ニ御考慮ヲ御願ヒシタイト云フコトヲ申上ゲル次第デアリマス

次ハ十八年度ノ二百七十億貯蓄ニ對スル取扱機關別ノ目標額ニ付テ實ハ御尋ネ致シタイト思フテ居リマシタガ、昨日ノ新聞ニ依ツテ公表セラレマシタノガ間違ヒナイト致シマスレバ、郵便局其ノ他ノ方面ニ於テコノ取扱ガ總計致シマスレバ二百七十億圓ニ相成ルカト思ヒマス、サウ致シマスレバ残りノ六十三億圓ハ此ノ以外ノ如何ナル方面ニ對シテ割當テナリマスカ、先ヅソレヲ承リタイト思ヒマス

○谷口政府委員 停年制ノコトニ付キマシ

テハ具體的ノ問題トシテノ御示デアリマシテ、今後トモ是ハ銀行ノ方ノ研究問題トシテ考ヘテ見タイト思フデアリマス、尙ホ一寸附加ヘマス、停年制ノ下ニ於キマシテ、同ジ停年ニ達シマス場合ニ於テモ、其ノ仕事ノ種類ニ依リマシテ、停年ヲ少シ延バシテモ宜イト云フ場合モ或ハアルカト考ヘルデアリマス、相當程度ノ低イ種類ノ仕事ニ付テ停年ガアル、サウ云フモノニ付テハ相當延バシテ使フト云フ餘地モアルト思フデアリマス、又相當程度ノ高イ種類ノ業務ニ付テ停年制ノ適用ヲ受ケルモノニ付キマシテハ、當該銀行ヲ去ツテ他ノ方面ニ於テ尙ホ活動ヲ續ケ得ル、サウシテ全體トシテハ人的資源活動狀況乃至人的資源ノ補填ニ當ルト云フ場合モアルト思フデアリマス、大體ノ御趣旨トシテハ今日ノ場合働ケルダケ長ク働イテ、出來ルダケノ業務ヲ提供スベキコトガ今日ノ場合大事ナコトデアリマス、此ノ停年制ノ運用ニ付テノ問題ニ付キマシテハ、尙ホ考究ヲ遂ゲルコトニ致シタイト思フデアリマス

ソレカラ此ノ機關別ノ貯蓄ノ目標ニ付キマシテハ、是ハ昨日大體新聞紙ニ依ツテ報ゼラレテ居リマスノガ正確ナル報道デアリマス、之ニ付キマシテハ、詳シイコトハ又貯蓄局長ノ方カラ御答ヘ致シマス、只今ノ御質問ノ點ハ其ノ差額ハ國民ノ直接ノ有價證券ノ投資、此ノ方面ニ計算致シテ居リマス、其ノ他ノ場面ニ於キマシテ、新聞紙ニ報道サレテ居リマスルガ如ク、金額ヲ決メマシテ、各種特殊銀行、普通銀行、郵便貯金、簡易生命保險其ノ他ニ配分致シテ居ルヤウナ次第デアリマス

○氏家政府委員 貯蓄取扱機關ノ貯蓄増加

目標額ハ、新聞紙ニ載ツテ居リマスノガ二百七十億圓ニ二百七十億圓トノ差額ハドンナモノカト云フ御尋ネデアリマスガ、大體次官カラ申上ゲタヤウナ次第ナノデアリマス、直接投資シタ部分モアリマスシ、又官廳方面ニ集ツテ來ル部分モアルデアリス、隨ヒマシテ目標ヲ立テテ、ソレニ向ツテ推進ヲスルト云フヤウナ部分ニ付デアア云フ割當デヲヤツタト云フヤウナ次第ゴザイマス

○木下(義)委員 左様ニ致シマス、大體六十三億圓ガ道府縣ニ配當サレル額、斯ウ承知シテ宜イ譯デアリマス

○氏家政府委員 ソレハソウデハナイノデアリマシテ、道府縣ニハ大體外地關係ノ分ト合セテ二百七十億圓ニナルヤウニ配分スルト云フノガ建前ニナツテ居ルノデアリマス、隨テ金融機關、其ノ他貯金局、簡易保險局ト云フヤウナ方面ニ受持ツベキ二百七十億圓ト云フモノハ、ソレハ皆道府縣ニ配分サレル中ニナルノデアリマス、ソレ道府縣ニ配分シマスレバ、道府縣ハ更ニ又ソレニ付テ自分ノ府縣内ニ於ケル取扱機關別ノ目標額ヲ決メ、斯ウ云フヤウナコトニナルノデアリマシテ、其ノ二百七十億圓ハ道府縣ニ配分サレルモノトハ別ノモノデナクシテ、道府縣ニ配分サレルモノノ中ニ此ノ二百七十億圓ガ含マレテ居ル、斯ウ云フコトニナルノデアリマス

○木下(義)委員 了承致シマシタ、サウ致シマス、自然結果カラ致シマスレバ、道府縣ニ如何ナル目標デ其ノ道府縣ノ貯金額ヲ算定サレルカト云フコトニナリマシテ、郵便貯金、簡易生命保險、郵便年金ナドハ郵便局ノ窓口カラ總計シテ是ダケノモノヲ

全國ノ道府縣ニ配分スルト云フコトニナルノデスカ、其ノ際等ノ取扱機關ノ配分ノ目標モ全體ヲ通ジタル配分ノ目標ニ依ツテ配當セラレル、斯ウ云フ風ニ諒承シテ宜シウゴザイマス

○氏家政府委員 道府縣ニ配分シマス際ノ標準ト致シマシテハ、例ヘバ貯蓄ノ最近ニ於ケル増加額デアルトカ、或ハ現在額デアルトカ、或ハ税ノ方面カラ見マシタ所ノ貯蓄能力デアルトカ、或ハ消費ノ方面カラ見マシタ所ノ貯蓄能力デアルトカ、色々ナ標準ヲ違ヘマシテ、道府縣ニ對スル配分額ヲ決メルノデアリマス、ソコデ或ル府縣ハ二億圓ナラ二億圓ト云フ配分ヲ受ケタト致シマス、サウシマス、其ノ府縣ガ假ニ前年度ニ一億五千萬圓ノ目標デ配分サレテ居ツタト云フ場合ニ、其ノ一億五千萬圓ノ貯蓄ノ種類別ニスルト云フト、ドウ云フヤウナ実績ヲ得タカト云フコトハ分ルノデアリマスカラ、例ヘバ一億五千萬圓ヲ、郵便貯金デ何程、預金デ何程、信託デ何程、或ハ生命保險デ何程、直接有價證券投資デ何程ト云フコトガ、前年ノ実績カラ分ルノデアリマス、ソレ等ヲ勘案致シマシテ、十八年度ニ於ケル色々ノ事情モ考慮ノ中ニ入レマシテ、サウシテ新タニ十八年度ニ於テ配分サレマシタ二億圓ノ取扱機關別配當ヲ考ヘル、斯ウ云フコトニナルノデアリマス

○木下(義)委員 私共市町村ノ實務ナドニ當リマシタ者カラ考ヘマス、從來配當セラレマシタル貯蓄目標額ノ消化歩合、ソレヲ標準トサレルノハ極メテ危險ガアルト思フノデアリマス、昨日大藏大臣ニモ御尋ネシタノデアリマスガ、小都市並ニ町村ニ於キマシテハ極メテ細カイ方面ナドニ互リマ

シテ手ガ届キマスル結果、相當貯蓄ノ自覺心モ持チマスシ、實績ヲ上ガレコトニ全住民ガ協力シテ居ル、其ノ結果石ノ嘴リ付イデモ目標額ハ實現サセナケレバイケナイト云フ奉公心デ、貯蓄ノ實現ヲ圖ツテ居リマスルガ、其ノ結果町村ナドニ於ケル實績ハ相當良イヤウニ相成ツテ居ルト思フノデアリマス、隨ヒマシテ十八年度ノ貯蓄目標ヲ立テマスル時分ニハ、根本的ニ如何ナル基準ニ依ルベキカヲ適正ニ御判定ニ相成リマシテ、配付サレル方ガ最モ適當デアラウト思フノデアリマス、此ノ點ニ付キマシテノ御所見ヲ承リタイト思フ譯デアリマス

○氏家政府委員 全ク御意見ノ次第御尤モデアリマシテ、私共道府縣ニ貯蓄目標額ヲ配分シマス際ニ於キマシテ、前年ノ實績ノミニ四ハレルヤウナコトハ極力之ヲ避ケテ居ルノデアリマス、一生懸命ニ努力ヲシテ成績ヲ上ゲタ所ガ、前年才前ノ方ハ是ダケノ成績ヲ上ゲタカラト言ツテ、又其ノ割合ヲ以テ翌年度ノ割當ヲ受ケルト云フコトニナリマシテハ、是ハトモ堪ラナイト云フコトハ申上ゲルマデモナイコトナノデアリマス、隨ヒマシテ先程申上ゲマシタヤウニ色々ナ標準ヲ使ヒマス、殊ニ最近ノ經濟情勢ナドガ能ク反映スルヤウナ標準モ中ニ取入レマシテ、サウシテ道府縣ヘノ配分ヲ決定スルト云フコトニナツテ居リマス、ソレデ實ハ二百七十億圓ノ配分手續ガ目下進行中デゴザイマス、各道府縣ニ案ヲ内示シテ居リマシテ、之ヲ目下各道府縣デ研究致シテ居ルノデアリマス、二三日後カラ全國ヲ六「ブロック」ニ分ケマシテ、内政部長ノ「ブロック」會議ヲ開キマシテ、ソコデ内示案ヲ中心ニ致シマシテ色々府縣ノ事情ヲ、私

共トシテ知り得ナイヤウナ事情モ澤山アルノデアリマスカラ、ソレ等ヲ聴取シマシタ上デ決メルト云フコトニナリマス、隨ヒマシテ私共ガ今考ヘテ居リマス案モ、又道府縣ト協議ノ結果決定マリマス案モ、決シテ前年ノ實績ノ何割増ト云フヤウナコトニハナラナイト思ヒマス、或ル府縣ニ付キマシテハ目標額ハ前年同様據置ニナル所モ現ハレテ參リマス、或ル所ハ前年ヨリハ減ズル所モアルト思ヒマス、更ニ或ル所ハ三割モ或ハソレ以上モ増加スル所ガ現ハレテ來ル、斯ウ云フコトニナルノデアリマシテ、前年ノ實績ニ依ツテ割當スルト云フヤウナコトハ致サナイ積リデゴザイマス

○木下(義)委員 御説明ニ依リマシテ根本的ニ目標割當ノ基準ヲ定メテ、適正ニ民力ヲ基礎トシタ割當スルト云フコトニ諒承致シマシテ、其ノ適正ナル運用ヲ期待スル譯デアリマス

次ニ御尋ネ致シタイト思ヒマスノハ、昨日大臣ニ是モ御尋ネ致シマシテ、大體ノ趣意ノ御諒承ヲ得タト存ジマシタノデ、具體的ノ御答ヘヲ得ルコトヲ、時間ノ關係デ見合シテ居ツタノデアリマスガ、納稅施設法案ニ付テ考ヘマスル時分ニ、市町村ニ對シテ交付金ヲ交付セラレルコトニ相成ツテ居リマス、勿論此ノ事業ガ國家ノ事業デアルトハ申シナガラ、今日ノ征戰完遂ノ爲ニ最モ緊要ナル事務デアリマスルノデ、市町村トシテハ出來ルダケノ成績ヲ擧ゲマスルヤウニ努力シナケレバナナイコトハ當然デアリマスガ、昨日申上ゲマシタヤウニ動モスレバ此ノ種ノ事務ヲ市町村ニ委任セラレマスル時分ニ、當初ノ設備ニ對シテハ割合能ク補助、交付金ナドヲ支給相成リマスルケレドモ、次

年度ニ相成リマスレバ事務ノ減少シタル割合ヨリモ格段ト交付金ノ額ガ減殺サレマスルノガ常デアリマス、此ノ點ニ付キマシテノ御用意ハ如何デアリマスカ

○谷口政府委員 國家ノ事務ヲ色々市町村其ノ他ニ頼ミマス時ニ、此ノ經費ノ問題ヲドウスルカト云フコトハ、古クカラアル問題デアリマスルガ、晩近殊ニ痛切ナ問題ニ相成ツテ居ルノデアリマス、御示シ點等ニ付キマシテハ、初メニタツプリ、翌年度カラ減ラスト云フヤウナコトハナイヤウニ心掛ケマシテ、市町村ノ方ニ於テモ十分不自由ナク之ヲヤツテ戴ケルヤウニ、取計ラヒタイト考ヘテ居リマス

○由谷委員 吉田君、アナタ何カ殘ツタノガアリマスカ、アレバ此ノ際簡單ニ御願ヒシマス

○吉田(貞)委員 簡單ニ御伺ヒシマス、今ノニモ關聯シテ居リマスガ、市町村ニ對スル交付金ト云フ御話デアリマシタガ、私ノ御尋ネシタイト思フコトハ、國民貯蓄組合ノコトナンデアリマスガ、國民貯蓄組合ノ者ガ現金ヲ取扱ヒマスル上ニ於テ、色々間違ヲ拵ヘタリナンカスルコトガアル、是ハ詰ラヌ問題ノヤウデアリマスケレドモ、田舎ニ於キマシテハ慣レヌ者ガ扱ヒマシテ、金ヲ落ス、或ハ間違ヘル、斯ウ云フヤウナコトガアルノデアリマス、ソレハ實際問題トシテハ、世話ヲシタ人ニ迷惑ヲ掛ケテ置ク譯ニ行カスト云フノデ又皆ガ出シ合ツテヤツテ居ルヤウナ狀態ナンデアリマス、サウ云フコトヲ幾分救済スルト云フヤウナ意味モ含メテ國民貯蓄組合ノ仕事ヲ取扱フ市町村ノ下部ニ居リマスル組合ノ者ニ、何カ國カラ取扱費用ヲ出シテ貰ヘルカドウカト

云フコトヲ伺ヒタイト思ヒマス

○氏家政府委員 御尋ネノヤウナ事情ガアリマスコトハ能ク承知致シテ居リマス、殊ニ取扱上紛失シタト云フヤウナコトバカリデナク、災害ナンカニ因リマシテ無クシテシマフト、云フヤウナコトモアルノデゴザイマス、併シサウ云フ場合ニ普段無報酬デ獻身的ニヤツテ居ラレル方々ニ對シテ之ヲ負擔シテ戴クト云フノハ、是ハ洵ニ氣ノ毒ナコトデアルト思ヒマシテ、府縣ノ方カラノ申出ガアリマス、適當ナ方法デ之ヲ補償スルト云フヤウナ手段ヲ執ツテ居ルノデアリマス、ガ日常ノ貯蓄組合ノ事務ヲ執ツテ居ル間ニ紛失スル、其ノ金ガアマリ多クナイト云フヤウナコトノ爲ニ、サウ云フモノニ付テハ吾々ノ所マデハ來テ居ラナイヤウデアリマスガ、其ノ場合ニ備ヘテ普段カラ一定ノ金額ヲ交付スルト云フヤウナコトハ只今考ヘテ居ラナイノデアリマスルケレドモ、洵ニ氣ノ毒ダト云フヤウナ事情ガアリマスレバ、是ハ地方事務所ナリ府縣ナリニ御申出下サレバ適當ナ處置ガ執レルト云フコトニナツテ居リマスシ、又現ニ執ツテ居リマス、ドウゾ左様御承知願ヒマス

○吉田(貞)委員 ソレカラ是ハ此ノ間大藏大臣ニ御伺ヒ致シマシタ時ニ御答辯ヲ得テハ居ルノデアリマスケレドモ、昨年百五十億デ暮シテ、國民ニ本年ハ百三十億デ暮セト云フコトニナル譯デアリマスガ、サウ致シマストマダ今カラ三割モ五割モ生活ヲ切下ゲテ暮スコトガ出來ル階級モアルト思ヒマスケレドモ、一般ノ國民ニ於キマシテハ現在ノ暮シノ立テ方ニ於キマシテハ中々是レ以上切詰メテ暮シテ行クト云フコトハ困難デアルト思フノデアリマスルガ、此ノ際ニ政

府ニ於カレマシテハ、何カ一般ノ生活ノ基準ヲモツト切下ゲテ暮シテ行ケルト云フヤウナコトニ付テノ御工夫が大藏當局トシテアルモノデアリマス、其ノ點ヲ伺ヒタイト思フノデアリマス、是ハ都會デモサウデアリマセウガ、殊ニ田舎ニ於キマシテハ獨リ率先致シマシテ自分ガ切下ゲテ、其ノ土地ノ風俗習慣ト云フモノヲ破リマシテ自ラ進ンデ新シイ暮シヲ立テルト云フコトニシヨウト致シマシテモ中々其ノ勇氣ガ出マセヌ、一般ノ者ガ斯ウ云フ決戰體制下ノ生活基準ガ出來テ之ニ依ツテ衣食住ヲヤツテ行カナケレバナラヌノダト云フコトガ一般的ニ公表サレマシテ、誰カ役人ナラ役人ガソレヲ自分デ實踐シテ皆ノ者ニ模範ヲ示スト云フコトニナリマス、非常ニヤリ易ク一般ニ對シテ引ケ目ヲ感ジナイ進ンデヤレルト云フヤウナコトニナリマスガ、サウ云フ御着意ノ下ニ國民ニ對シテ何カ生活ノ基準ト申シマス、或ハ戰時生活ノ操典ト申シマス、サウ云フモノヲ決メテ、ソレニ對應スル施策ヲ、是ハ大藏省ダケノ問題デハナイノデアリマスガ、各省トモ連絡ヲ執ラレマシテ、奢侈、贅澤ニ付キマシテハモツト徹底シテ施策ヲ進メテ行クト云フ御考ヘガアルカドウカ、御伺ヒシタイト思ヒマス

○谷口政府委員 吉田サンノ御話ハ吾々ハ洵ニ其ノ御話ノヤウニ考ヘテ居ルノデアリマス、全ク大藏省ダケノ問題デハナイノデアリマシテ、生活ノ全部ニ互ル問題デアリマスカラ、色々相談モ致サナケレバナラヌ先モ政府部内ニ於テモ數ガ多イノデアリマス、事變始マリマシテ昭和十三年ニ國民貯蓄目標八十億ト云フモノヲ立テマシテ以來徐々ニ其ノ方向ニ進ンデ參ツテ居ルノデア

リマス、服裝ノ點デアリマスルカ、或ハ冠婚葬祭ノ點デアリマスルカ、是ガ吾々モソレニ關係致シマシテ、國民精神總動員ノ團體デアリマスルカ、大政翼贊會ノ團體等トモ手ヲ繋ギマシテ各方面デ行ハレテ參ツテ來テ居ルノデアリマス、之ヲ綜合シテ一ツノ新生活操典ト云フヤウナモノニ編ムゲルト云フ御着想デアリマスガ、是ハ出來レバサウ云フ所ヘ進ミタイト思ヒマシテ研究ヲ續ケテ居ルノデアリマス、國民貯蓄局ニ於キマシテモソレハ重要ナ仕事ノ一ツデアリマス、是亦生活局其ノ他ノ方面ニモ相談ヲ致サナケレバナラヌト思フノデアリマス、ソレデサウ云フ操典ヲ立テマスノニハ中々思ハザル所ニ難カシイ點ガアルノデアリマス、例ハバ或ル地方ニ於テ新國民生活ヲ打立テルニハ義理人情モ此ノ際棚ニ上ゲテヤラウト云フヤウナコトニ、一ツノ指標ヲ設ケテ實行シテ居リマス、新生活ハ宜シイガ、義理人情ヲ捨テテ掛ルトハ何事デアルカト云フヤウナ御批判モ出テ來ルヤウナ實例モアツタノデアリマシテ、斯ウ云フ操典トシテ組立テルト云フコトニナリマス、色々大規模ナ研究トカ、色々方面ノ研究ヲ纏メ上ゲルコトニハ、多少手間ガ要ルト思フノデアリマスガ、吾々モ大體サウ考ヘテ居ルノデアリマシテ、斯ウ云フ風ニナツテ參リマシタナラバ、新生活ノ規矩準繩ト云フモノヲ色々具體的ニ示シテ、サウシテ皆ガヤリマスレバ、ヤリ易イノデアリマスガ、一人ガヤリマスレバ場合ニ依ツテハ、義理人情ヲ缺クト云フ非難ノ爲ニ打挫ガレルト云フ場合モ生ジテ來ナイトハ限ラヌノデアリマス、先ヅ手近イ所デ、サウ云フコトノ實例ヲ集メマシテ、斯ウ云フ實例アリ、斯ウ

云フ實例アリト云フ譯デ、或ハ一ツノ團體デハ是ト是トヲ採用スルト云フヤウナヤリ方モ、一ツノ實際的ノ方法デハナイカト思フノデアリマス、洵ニ御説御尤モノ次第デアリマシテ、從來モ多少其ノ方ニ努力ヲ致シテ居ツタノデアリマスガ、今後サウ云フ方向ニ向ヒマシテ、一段ト研究努力ヲ致シタイト思フノデアリマス

○吉田(貞)委員 了承致シマシタ、私ハ是デ終リマシタ

○由谷委員長 ソレデハ大體質問ノ通告モ終了致シマシタカラ、此ノ委員會ノ質問ハ打切リト致シタイト思ヒマス、ドウゾ御諒承ヲ願ヒマス、本日ハ是ニテ散會シマシテ、次會ノ日程ハ公報ヲ以テ申上ゲマスガ、次會ハ翼贊政治會ニ於ケル然ルベキ手續ヲ執ツタ上デ、此ノ委員會ニ付託サレマシタ議案全部ノ採決ヲ致シタイト思ヒマスカラ、左様御諒承ヲ願ヒマス、散會致シマス

午後三時四十六分散會

昭和十八年二月二十三日印刷

昭和十八年二月二十三日發行

衆議院事務局

印刷所 内閣印刷局